大正七年七月一日發行 大正七年六月二十八日印刷納本 明治三十七年五月七日第三種郵便物認可 （毎月一回一日發行）

女子青年界



第十五巻七月號

内…宮殿下 御買上 八回

於博覽會共進會 金銀銅牌廿餘回受賞

桑港萬國大博覽會 銀牌受領

甲斐國產

御申越次第商品目錄進呈

水晶細工品

印篆刻
眼鏡一式
軸掛
裝身具
床置物
珠數

指環
中差
簪
櫛
根掛
エり止
帶メ
守玉
ヒン
カフス釦

印傳袋物

二ツ折札入
弗入
財布入
莨入
手提袋
手スクールバック

共紐
叺
御殿持
巻莨入
火の用心
文人持

水晶印章篆刻幷に細工品共懇切を旨とし精々勉強仕り
御好みに應じ如何樣にも確實に御調進可申上候

商標

玉泉堂

山梨縣甲府市柳町

電話百〇二番

振替口座東京五〇六四番

OGAWAMACHI ST, TOKYO, TEL. HONKYOKU- No. 1100.

SOL AGENTS IN JAPAN

Cosmos Pictures Co. & National Art Co.

New York, U. S. A.

モス繪畫會社◎米國◎ナショナルアート會社

日本總代理店

額緣繪畫繪葉書輸出入

岡本地球堂商店

神田區小川町通

振替東京一九七〇番　電話本局千百番

院長診察　月、木、金、午前及木午後六時

林、峯間兩副長は目下當院に在勤

東京市麴町區三番町三十番地（市ヶ谷見附內）

電話番町六二番　五一六番

東洋內科醫院

院長　醫學博士　高田畊安

電話ちがさき二番

南湖院

神奈川縣茅ヶ崎海濱（從停車場半里）

河野、高橋、兩副長は目下當院に在勤

院長診察　土曜日午後　入院診後應需

「診察每朝　但祭日及日曜及土曜之他」

年限　九ヶ月（自大正七年九月十六日 至大正八年六月十五日）
時間　一日五時間　一週五日間

時間表

英語速記術　三時間
英語（普通英語 商業英語）　一時間
タイプライター　一時間
講（商業道徳 社界學）　毎週一回
其他ファイリング並ビニ實務ニ必須ナル技能ヲ教授ス

料　一ヶ月拾壹圓（毎月廿日迄ニ納付ノコト）
但最初ノ月拾武圓（一圓ノ入學金ヲ含ム）

授業開始　ハ人員十八ニ滿チタル時ニ於テス
入學ヲ許可サレタルモノハ規定ノ九ヶ月間修業ノ繼續ヲ期待サル。

東京神田北神保町十四

入學資格　高等女學校卒業
授業時數　毎日一時間タイプライター練習一週五日。
其他講義（商業道徳 社界學）　毎週一回
授業料　月五圓（毎月廿日迄ニ納付ノコト）
但毎日一時間英語ヲ兼修スルモノハ月七圓納付スベシ
本會ニ於テ各自ノ技能ガ相當ノ熟練ニ達シタルヲ認メタル場合ハ就職ノ周旋ノ勞ヲ取ルモノトス。
入學志望者（本科撰科トモ）入學願書ニ自筆ノ履歴書並ビニ在學證書ヲ添ヘテ成ルベク速カニ神田北神保町十四女子青年會（加藤高子幹事）宛ニテ差出サレタシ。
右受附メ切期限九月十日
本會學生ハ英語及ビ速記術教科書ヲ購入スルヲ要ス。
タイプライター教科書ハ本會備付ヲ使用シ得ル特典アリ

女子青年會英語會（電本局五九八）

子青年界　第十五巻七月號
大正七年七月一日發行

夏の快興

夏の快興

河井道子

が參りました、姉妹方にとつて夏休は嬉しりませう。之から一月なり、一月半なりをに遊び暮さうと考へて、山とか海とかの嬉が滿ち〱て居られませう。グッド、タイム英語で云ひますが、夏休みこそ眞實にグッムを樂しむ時であります。もし幸に遊ぶ機られなさつたなら、感謝して、山でも、海處でゝも思ひ存分に遊びませう、而し又や、人知れぬ苦勞などで、夏休みが却つてがあるかも知れません。歸るに家のない人もありませう、偶には親があつても名ばかりで、家に歸るのが嫌な人もありませう。斯う云ふ方々は乾度他の人を羨ましく思はれるも、無理はない事でありますけれど、若い時にそう云ふ經驗をした人は、必ず大人になつてから勤勉家となり、役に立つ者となり、克己、忍耐の強い人となります、其上神樣はグッド、タイムを必ず與へて下さいます。

このグッド、タイムと云ふのは、どう云ふ事を意味して居りますか、面白く遊ぶと云ふ意味ですか。人間は働いて許り居つて、氣を緩めて遊ぶ事がなけ

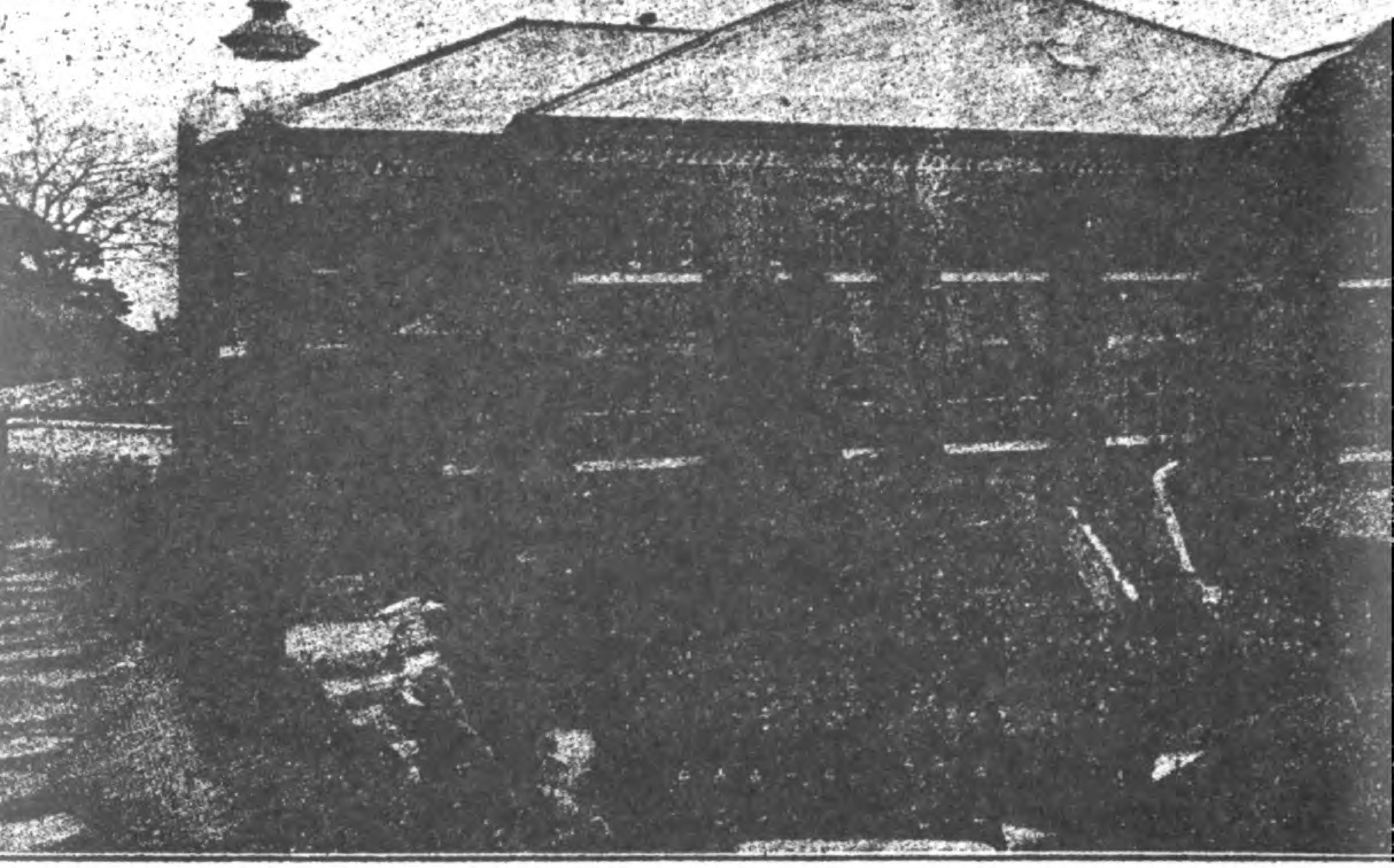


よかつたと感じ、人の前に於ても、神の前に
少しも恥ぢない其遊びが、眞實のよい遊び
のであります。時々私共は、して居る場合丈
白いと思ふても、後から考へて詰らなかつた、
た、爲過ぎた等と思ふ樣な事が澤山に有りま
寸店に行つて、奇麗な物が目につくと、直ぐ
考へず買つたりして、後で困る樣な事もあり
、或は人に吝嗇と云はれるのが嫌さで、大風
見せて、後悔したり、長く遊び過ぎて、歸り
れてそれで叱られたり、夜更かしをして面白
、書物などで時をとり、翌日朝寢して學校や事
れたり、或は頭が痛かつたりする場合を考へ

び度と思ふ時に止めると云ひました。これは私共も
習ふて可い事です、普通では八分處か十分でも不足
で近頃は十二分に樂しむとか遊ぶとかの言葉が流行
ります。過たるは及ばざるに如かずで、遊び過ぎる
ほど惡結果の生ずるものは尠ないのです。夏休暇に
十二分怠けたり、十二分に暴飲暴食したり、十二分
にだらしなくすると云ふのは、大層其時も惡いし、
後からも惡いし又身體と性質とに永久的有害であり
ます、何でも適宜に物事をすると云ふ事は忘れぬ樣
に致しませう。

夏は戸外で、清潔な健康的なよい時を持つ事が出
來ます。それを態々寢轉んで飲食し、汚れた書物等

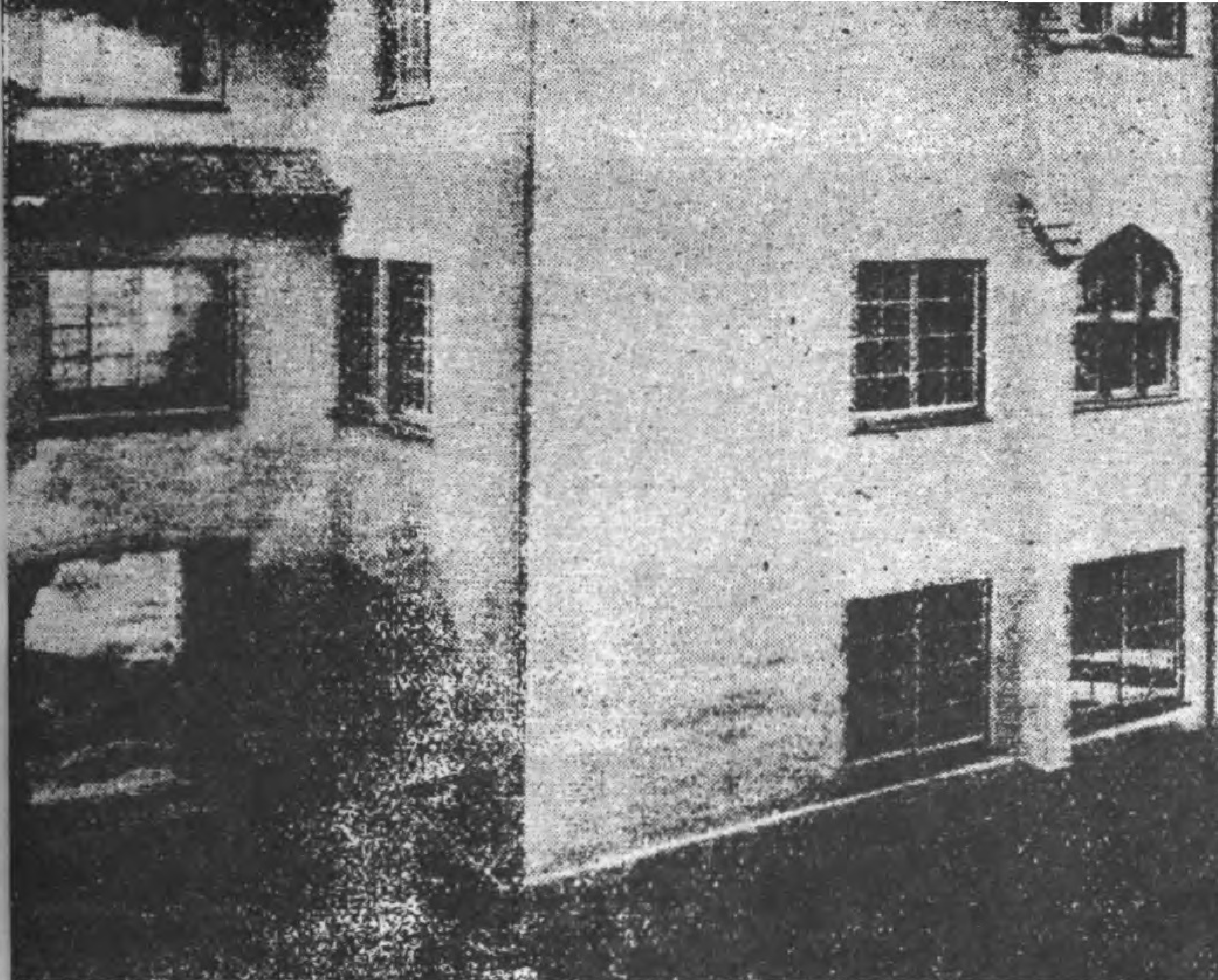
を樂しんだり、人の大勢居る娯樂場等へ行つて、健
康を害さぬ樣にしたいものです。戸外を樂しむ事の
出來ない人達は、家で兄弟と共に樂しみ、友達と樂
しむのは金もかゝらず、弊害も來らず、誠に結構
グッド、タイムを持つ事でありませう。餘り勝手



神戸女學院講堂

出來ない人達は、家で兄弟と共に樂しみ、友達と樂しむのは金もかゝらず、弊害も來らず、誠に結構なグッド、タイムを持つ事でありませう。餘り勝手な事をして居りますと、物に飽きが參ります、お金が澤山あつて勝手に遊べる人は、直きに飽き易いのであります。故に夏は遊ぶ時でも遊ぶと云ふ眞の意味を考へて、適宜にしませんと、夏も飽き〳〵致します。休の中避暑などに行けぬ方は、自分の周圍でいくらでもグッド、タイムを得られますから、他人を羨まず感謝してこの夏をお送り下さい。

　西洋の女學生で、女子青年會々員は、八週間倶樂部と云ふものを、諸所に設けて、邑村部落の發展を非常に助けます。殆んど日本で田舍に少女會等を組織して居る樣なものですが、其れよりか遙かに有效であります。それは先づ一人の田舍の娘が、都會に出て勉强を致しますと、夏休みに歸省致します。丁



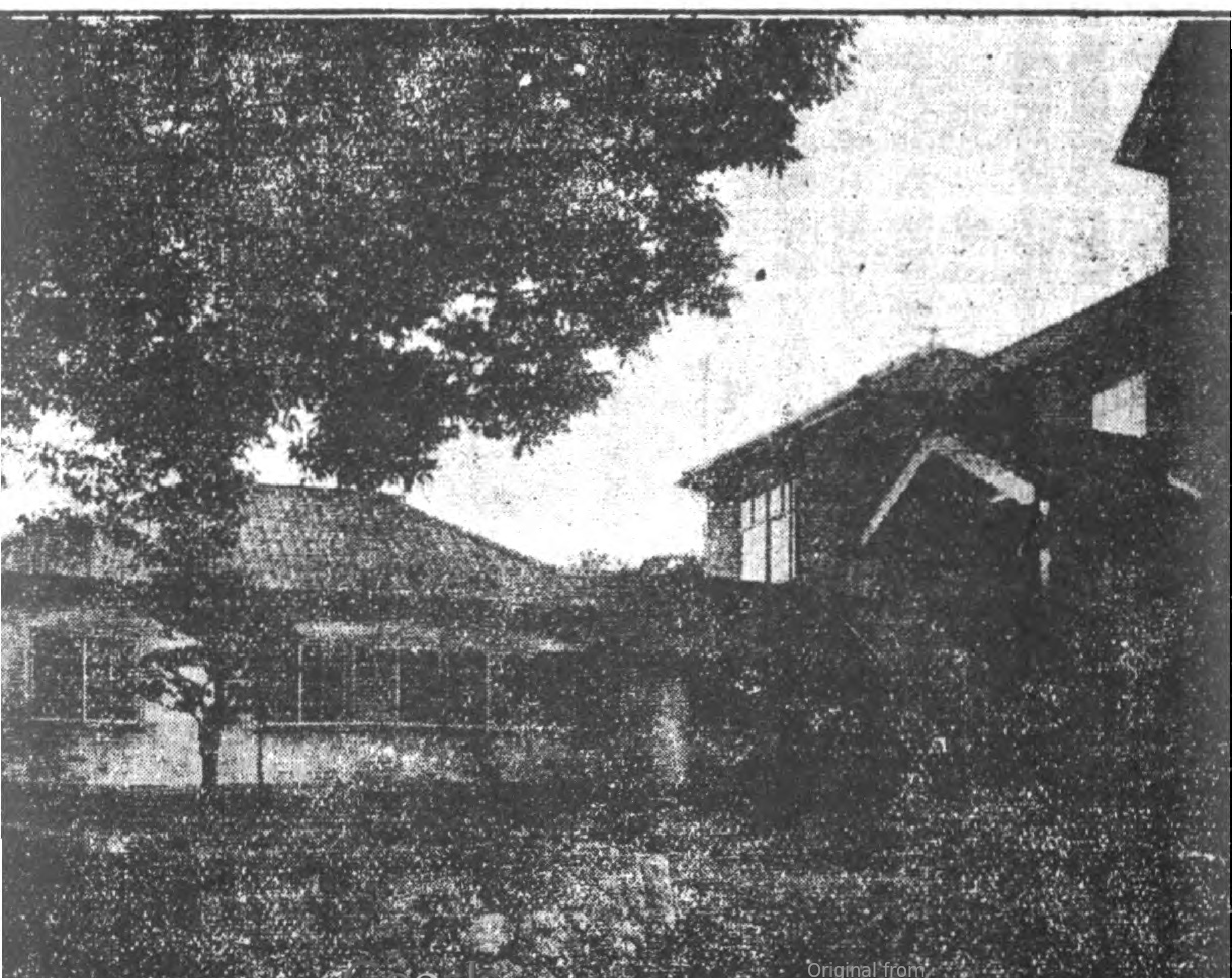
綱女學校中庭

つて來るかなどの話を聽かして、小供に蠅の
敎へ、又お行儀の方を申なら田舍には有勝ち
傍で用をたす等の惡弊害を、小供から取除く
る事も、又洗濯の仕方を敎へてやります事や、
で目を觸つたり、鼻汁を出し放しにして居る

友達に幾分か分け度と思ふならば、村に歸つてから謙遜で、以前よりかも親切で、皆に奉仕する樣になります。それでこの八週倶樂部と云ふのは、この樣に女學生が田舍に歸つた場合、舊友なり村の小さな小供なりを集め、看護法でも、料理でも、編物でも讀書でも、唱歌でも、自分の力に應ずることを、時間の許す限り、爲ると云ふのが目的で、之が爲に親切に考へた參考書等が出來て居ります。姉妹方の中に小な町や田舍に歸省される方は確かに之を習ふ事が出來ます。日曜學校を自分の家で開くなり、森の中で開くなり、或は衞生の話をして、蠅がどれ程微



傍で用をたす等の惡弊害を、小供から取除く事も、又洗濯の仕方を教へてやります事や、で目を觸ったり、鼻汁を出し放しにして居る注意してやるなど、考へれば爲になる事が實御座います。又折があったらば、自分の町内、工場の模樣、女の働き、酒屋の數、お寺の迷信の數々などを、夏休中調べるとこれも又役にも立ち、又愉快にもなるものでありまの器用な方は編物や、細工物を、夜など女のへてやるなど、一二回しても必ずよい種子をが出來ます。こう考へれば態々家を離れて、に避暑に行きませんでも、夏を愉快なる季節送る事が出來ませう。「凡ての賜物我にはよかなし」と、パウロの云ひましたそれを思ひ、は感謝と奉仕の念を以て、充分にグッド、タお持ちになる事を御勸め申ます。



偕網女學校講堂と作法室

込期限　七月十日迄。

問合　東京市神田區北神保町十四番地基督教女子青年會本部宛に願ひます。

會者　決して青年女子に限りません。

書の組　來會者は前もつて何れの組に出席せんか御相談なされて、豫め選定して御來會を願ひます。少女又一校より數人の代表者あれば可成各自異つた組に御出席なさる樣御注意申上げます。の組は高等女學校二、三年程度の來會者の爲めに設けます。

用　會費壹圓（一日分拾五錢）　全部滯在費　金六圓六拾五錢
但金八拾五錢（一日分）　金七拾錢（一泊二食）　金三十五錢（晝食）

費　東京より神戶三ノ宮驛迄汽車賃　三等金參圓八拾壹錢（但し夏中値上の由）
東京より仙臺驛まで　三等金貳圓六拾貳錢（但し夏中値上の由）
仙臺驛より尚絅女學校迄人力代　金參拾錢位（約一里）
三ノ宮驛より神戶女學院迄同　金拾五錢位

帶品　敷布、枕布。上草履は各自必らず御携帶を願ひます。旅館と違ひ他より借りる必要がありますから御望みの方は毛布及び枕、金盥を御持參下さい。
旅館に宿泊お望みの方は仙臺にては南町境屋を御紹介致します。神戶は女學院附近に澤山ありま

神戶の部

	午前				午後		
五時半—六時	八時—九時	九時半—十時	十時半—十一時半	晝食後—夕食迄	六時半—七時	七時半—八時
早天祈禱會	聖書研究	協議會	講演		閉會禮拜	

司會者　志立タキ
報告　河井道

標語　信仰もし行を兼ざるときは乃ち死るなり（雅各書二〇十七）

（一）舊約聖書便覽

五時半—六時　八時—九時　九時半—十時　十時半—十二時半　晝食後—夕食迄　六時半—七時　七時半—八時半

早天祈禱會　聖書研究　協議會　講演　開會禮拜　司會者　志立タキ子氏
報告　河井道子氏

標語
信仰もし行を伴はざるときは乃ち死るなり（雅各書二〇十七）

（一）舊約書梗概　城戸順子氏
（二）馬可傳要所　今泉眞幸氏　支部役員　「福音主義の眞義」　釘宮辰生氏　休憩　夕陽會司會者　加藤高子氏　「我等の戰」　志立タキ子氏
（三）羅馬書　西野貞子氏　委員會　「關西女子青年會に望む」
（四）少女の組　中路ちか子

司會者　林あき子氏
同上　支部報告　「靈的趣味」　宮川經輝氏　親睦會　「セトルメントと基督教的精神」　賀川豐彦氏

同上　支部報告　「覺めたる婦人の煩悶と覺悟」　名出保太郎氏　夕陽會司會者　未定　「婦人衛生論」　佐伯理一郎氏

司會者　松原榮子氏
同上　協議　「敬神の修行」　日野原善輔氏　遠足

市内の日曜學校及教會に隨意出席　組會　夕拜司會者　西野貞子氏　十分間のお話　三名

同上　協議　「現今の歐米婦人と日本婦人」　河井道子氏　休憩　夕陽會司會者　藤田よき子氏　「在米日本婦人と其指導」　ミス、タピング　「イエス最後の言葉」　城戸順子氏

司會者　中路ちか子氏
同上　協議　「日常生活と基督教」　山室軍平氏　懇親會　司會者　加藤高子氏

(三)求道者
(四)少女の組
ミス、マクドナルド
渡邊百合子氏

委員會　笹尾粂太郎氏

休憩

夕陽會司會者未定「我等の隣人」
ミス、マグドナルド

司會者
堀順子氏　同上　支部報告　「聖靈に充ちたる人」

親睦會

「現今婦人の歩調」
河井道子氏

同上　支部報告　「女工問題」
菊池武治氏

夕陽會司會者
札幌女子青年會
代表者

「在天のイエス」
吉川鉊行氏

司會者
尚絅女學校
代表者　同上　協議　「信仰と働」
新渡戸稲造氏

遠足

讃美歌禮拜
說教
「信仰の歩み」
毛利官治氏

組會

夕拜司會者
岩澤時子氏
十分間のお話
三名

同上　協議　「人生の遍歷と基督教信仰」
稲垣陽一郎氏

休憩

夕陽會司會者
遺愛女學校
代表者

「我等の目的」
渡邊百合子氏
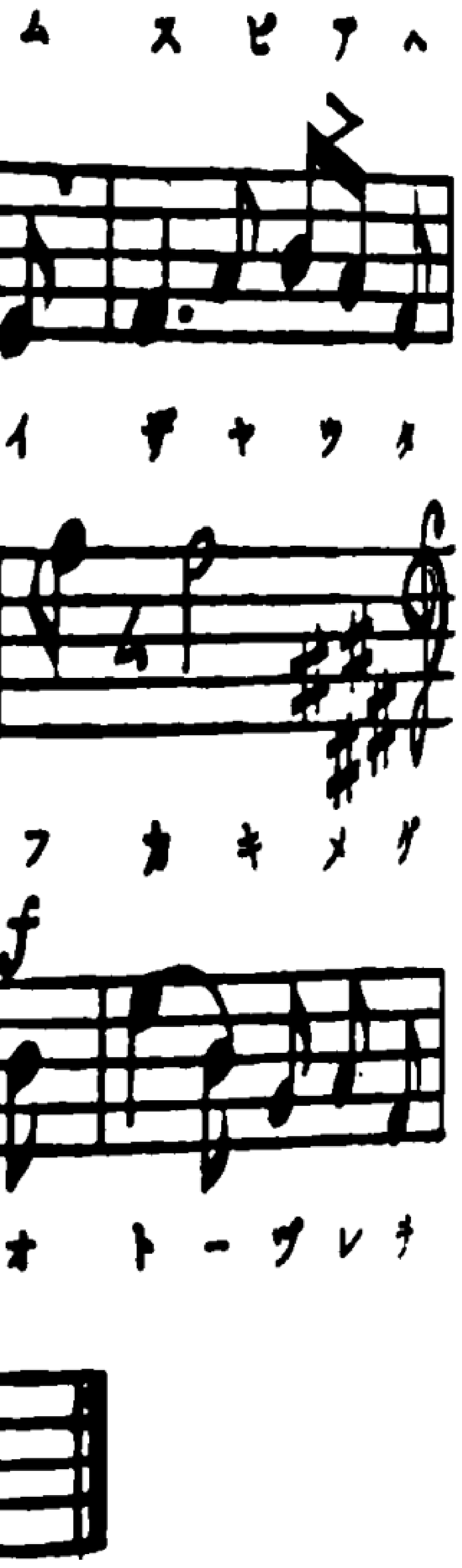
司會者
盛岡女子青年會
代表者　同上　協議　「救はれたる生命」
植村正久氏
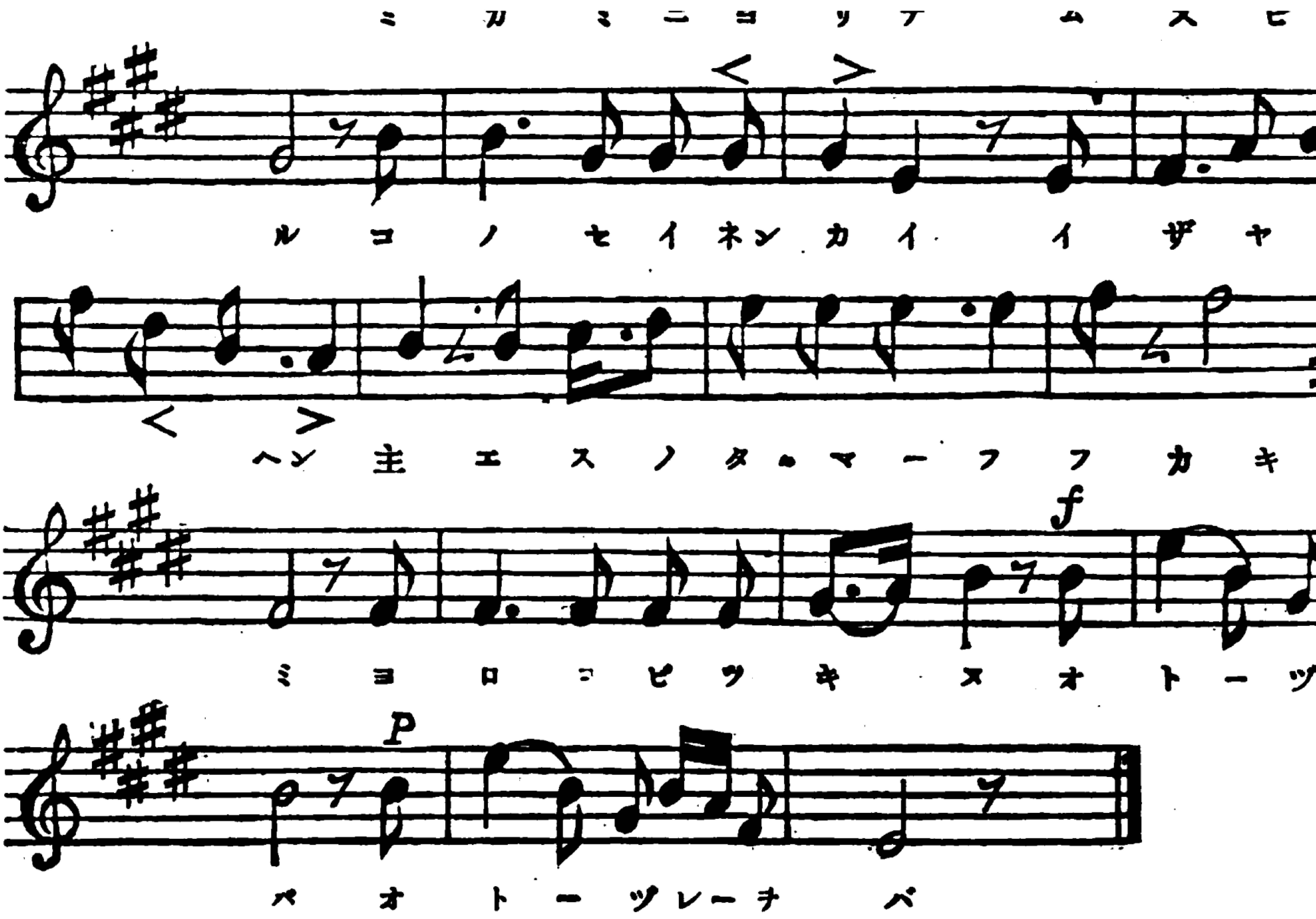
懇親會
司會者　河井道子氏

當選歌

六月號の女子青年界に會歌を募集せしが、親睦會等に適用するものなかりしも、本會の主旨を詠へるものの中より選歌として左のものを諸姉に紹介す。歌は高等女學校に用ゐゆる「追慕」なり。

一 みかみによりて　むすびあへる　このせいね





なかりしも、本會の主旨を欲へるものの中より選歌として左のもの
な諸姉に紹介す。譜は高等女學校に用ゐゆる「歳暮」なり。

一　みかみ(神)によりて　むすび(結)あへる　このせいねん(青年)
んかい(會)　いざやつた(傳)へん　しゆ(聖主)エスのたま(賜)ふ
ふかきめぐみ　よろこびつきぬ
おとづれをば　おとづれをば

二　いざはらから(姉妹)よ　ををしく(雄々)たち(起ち)　しゆ(聖主)エスに
よりて　うき(憂)もなやみ(艱難)も　おそれずすすまむ
くにのうち(國內)と(外)　もろびとかみ(神)を
あふぐひ(仰日)まで　あふぐひ(仰日)まで

三　われらはちさく(小)　よわ(弱)けれども　いの(新)りあひ
つつ　ちからのかぎり　はげ(勵)みつく(盡)さん
ひび(日々)のつとめ(務)　しゆ(聖主)のみこころ(聖旨)の
よになる(世成)まで　よになる(世成)まで

（東洋英和女學校青年會一會員作）

を持ち度と云ふ事は吾々が熱望して居る處
其處で宗教を信じると心が潔くなる樣な氣
、伊勢の太神宮などに行つても森として居
何にも神々しい。凡そ宗教のある處に神を
處はないが、新約聖書に於ける程神をよく
る處はない。

は概して潔いと云ふ事を好む。之は結構な
が而し其の根底となる處は更にない。外國
ニソン、ブラウニング等の詩趣の淸い處は
根底を新約聖書の精神に置くからである。
に於ける淨めと云ふことを左の三に大別す
來る。

一、基督教全體の精神として人は愛に依つて淨めら
れる。眞理の淨めは水を以て淨くなるのでなくて、
大に燃やされて淨くなるのである。パプテスマのヨ
ハネは「吾水を以て淨むれど、吾より後に來る者は
火と水とを以て淨む」と云つた。英國のシイリーと
云ふ人が基督の論理を書いた中に、「愛は熱心を生じ
熱心は人を潔む」とある、同敎授の名言、如何にし
て熱が人を潔め得るかと云ふ問に對して、「道德上の
熱は人を淨む、熱烈ならざる心は安全ならず、熱心
ならざる德は安全ならず、キリストは是の如き熱心
なる德を持ち來すなり」とセルフヘルプと云ふ書物
の中に書いてある。これは實際吾々の生活に合ふも

一。基督の自ら潔めると云ふのは、汚れたも
るのでなくて、神の御用の爲に聖獻するの
る。而し如何なるものに熱心になるか、如
に身を獻げるか。
を愛する事に依つて淨められる。「爾の眞理
等を潔め給へ、爾の言は眞理

書一章十五節）尼さんの樣に俗界に近づかないのも
淨いのであるが、普通の人の中にあつて正しく潔く
慈愛に富まねば道德的ではない。又誘惑の中に立
て他を感化するのが眞理の潔いのである。「凡の
今は悦しからず反て悲と意はる然ど後之に

「如何なるものに熱心になるか、如何なる者に身を獻げるか。理を愛する事に依って淨められる。「爾の眞理彼等を潔め給へ、爾の言は眞理なり」(ヨハネ十七節)この言葉の反響とも見るものは「爾に靈により眞理に循ひて靈魂を潔め僞なく愛するに至りたれば潔心をもて互に篤く相愛すべし。」(ペテロ前書一章二二節)潔めると云ふ事すると、只無茶に潔めて貰ふと思つて叫ぶ人が、眞理に於て潔まらねばならぬ、信仰生活も基督の示し給ふた眞理が必要である。親はの様な人であつても、生活が上品であると其公子の様になる。故に養ふ事が必要である。督が示し給ふた眞理の中の眞理は、神が淨い吾々もそれに與り得られるのである。「爾曹を聖者に效ひて凡の行を潔すべし」(ヨハネ前

慈愛に富まねば道徳的ではない。又誘惑の中に立つて他を感化するのが眞理の潔いのである。「凡の懲治今は悅しからず反て悲と意はる然ど後之に由りて鍛錬する者には義の平康なる果を結ばせり」(ヘブル書十二章十一節)人生は苦痛に依て潔められなければならない其最も大仕掛のものは、今の戰爭である。今は火のバプテスマが施されて居るのである。而し神は吾々が左程苦しまずとも、基督が苦しみを受け給ふた故に、其苦痛を受けた積りで居れば、潔められる、最後に聖靈に依つて潔められる。聖靈は眞理の潔さを與へるものである、基督の感化は是又聖靈の感化である。聖靈に依り吾々の動機が潔められ、次に情緒が潔められ、終に吾々の肉體迄も潔められる。「然ば愛する者よ我濟この約束を得たれば肉と靈との凡の汚を去りて自己を潔くし神を畏れて聖潔よを成就すべし(コリント後書七章一節)

(富士見町敎會女子靑年會神學講演大意文責記者)

面し居る四方町は、今は近傍に並びなき富ん
て、他から羨まるゝ的となつた所であるが、
は美はしい原因があるのである。もと此村は
貧乏な村であつたが、又不思議によく働くの
。「稼ぐ處に貧乏なし」との言葉はあるが、稼
〳〵なか〳〵富まぬのは此村の不思議な話で
。此村に一人の青年があつた、年頃になつて
るに不思議はないが、六百軒位の人家があ
娘のない事はないが、何故か離れた村から妻
た、村の者共は自分の村中に娘があるに、わ
山里から娶らなくてもよいであらう、義理知
どゝ許されて居た、然し妻はよく家の事をす

た。青年は毎夜日本海の荒浪に夜舟を浮べて漁獵を
し、一寸眠つて朝賣りに出かけるのであるが、或晩
の事若き妻は夫に向ひ「どうか今晩漁つた魚を明日
は私に賣らせて下さい」と云つた、妙な事を云ふと
思つて「駄目だお前等に賣れやしない呼聲だけでも
生きた魚が死んでしまふ」と云つたが妻が度々熱心
に願ふので、「それでは良し」と云つて夫は海に出か
けて行つた。其晩の事である、夫は「あゝこうして
艫を持つて居て一生懸命に自分は働いて居るが妻は
もう寢て居るんだ」と思ふと餘りよい氣持はしない
けれども「あんなに俺を助け樣と思つて居る妻を持
て居る」と思ふと急に勇氣附けられて、艫も元氣よ

る、平常は一里位しか行かぬに、其晩は一里
り出た。愉快に仕事をすれば魚も漁れるは漁
見る見る兩方の籠一ぱいに成つた。嬉しく勇
に歸ると妻は早や明日荷をかついで出掛ける
して居る「お前に出來るものかと再び云つて

しあなたが賣りに行かれたら、もつと得られたに相
まない事をしたとホロリと涙を落した。夫は自分
らとてもこれ丈は得られぬと感心して居る、其夕
夫の炊いだ御飯と妻の拵らへた魚で樂しい食膳に
つた。

見る見る兩方の籠一はいに成つた。嬉しく勇
に歸ると妻は早や明日荷をかついで出掛ける
して居る「お前に出來るものかと再び云つて
。何時の間にやら妻は起き仕度して賣りに
夫は仲間の者に何か云はれはせぬか、いぢめ
せぬかと、寢て居つても氣が氣でない、彼女
越えた處で「魚〳〵」と賣聲の稽古をしながら
して町に行き、一軒毎に賣つて歩いた、昨夜
兩二分とれば偉いと云つたが、どうか二兩二
得たいと思つて、一生懸命に賣り歩く。賣
れるは忽ちの間に賣り切れて夕方我家さし
が餘りに安く賣つたから夫に小言でも言は
かと首うなだれて歩いた。
の方では妻が一心に賣つて歩いて居るのに
られぬ故、夕飯を炊いで居る所へ妻が歸へ
。妻はたつた二兩二分しか賣れなかつた君

らとてもこれ丈は得られぬと感心してゐる、其夕
夫の炊いだ御飯と妻の拵らへた魚で樂しい食膳に
つた。

斯うした美はしい行爲は、一人を導き二人を改
しめて遂には、全村の女が我れも〳〵と其貞女に
つて夫の職業に同情を表はして、共に樂しみ共に
け今は年に四十六萬圓の利益を得る樣に成つた、
して他縣他村から非常に羨まるゝ樣になつた。一
の感化の偉大なることは實に驚かざるを得ない。

私がフィリッピンに着いたのは、丁度綠したゝる
夏の頃であつた海岸に面した大公園に一つの銅像が
ある。其は靑年がいとも穩かに一冊の本を手にして
歩を進めて居る姿である、彼は誰であるか。

比律賓にジョーヂ、リザールと云ふ一人の子供が
あつた、七才の或夕の事、母親の膝下で一つの話を
聞かされた。それは「愚なる獨り虫」といふ話で、

と成程奇麗なものが人間の家の窓の中に輝いので、思はず知らず側に行くと愈々美はしい。母の言葉も忘れて、其周圍をひら〳〵と飛びた、而して遂に火に燒けて死んでしまつた。愚な者だらうね」と母親がリザールに云ふと彼ながら、眞面目になつて「でもお母さん取りのは取つても可いでせう」と云つた。

てリザールは大人になつて、醫者となり人間癒す爲に働いた。然し彼は心の眼も共に癒しつて奔走した、而し此の心の眼を治す事は當ペイン人を喜ばせなかつたので、遂に種々の逢つて、捕はれて獄に縛がれた。丁度死刑執

守護の兵士に守られ乍ら、連られて來た。而の刑に處せられたが最後迄彼の脈膊は少しも變らなかつた、と檢査の醫師は告げた。彼はと仰いて斃れた。スペインの兵士等はリザーを見て分列式を行つて彼の周圍を廻つた。然

て置けばよかつたと咽びかへつたが、リザールは「私は滿足です」と答へた。次に妹が最後の別れに來た時、一つのランプを與へて、常々自分が獄の中で用いたアルコールランプ故之をお前に片身に上げると渡し乍ら、スペインの番兵に解らない位早口に、這入るものがあると云つた、妹は只頷いて、其れを貰つて家に歸つた、其中には詩が這入つて居るのであつた。

「眞の目の向ふ所は何所ぞや」と云ふ詩題で、之が後の人を鼓舞して遂に比律賓をスペインから離す事が出來たのである、緑したゝる常夏鳥がよい聲で、囀ずる時靜かにリザールに、現今公園となつて居る

和歌

辻村靖子

さみたれの雲の動かねしつかやの
のきはにしるきさゝ栗のいな

雨のうちに見やゝたけて桐の葉の

變らなかつた、と檢査の醫師は告げた。彼はを仰いて斃れた。スペインの兵士等はリザーを見て分列式を行つて彼の周圍を廻つた。然兵士がリザールの側を通る時は、誰も自然とれたと云ふ事である、斯くてリザールは地をか、其精神は去らなかつた、而して二月の後てる米國の國旗は揭げられた、斯くしてリの心は貫徹されたのである。

タ公園には今も尚リザールの銅像雄々しくに滿ちて立つて居る、彼一人により比律賓ペインの軛を脱して自由の國旗の下に、新つたのである。（文賓記者）

消息

マシウ、五月廿九日用務にて上京されしが二日後直ちに大
創立運動を繼續し六月中旬後に再び上京されたり。

さみたれの雲の動かぬしつかやの
　のきはにしるきさゝ栗のいな

雨のうちに夏やゝたけて桐の葉の
　むしはみみゆるまとのうち哉

逗子にまかりけるをりに大船のステーションにて

はるばるとかすむ遠山ふるさとの
　我かたらちねのおくつきどころ

旅にありけるころ

いてゝ行けはいつこへ行くとしたひつる
　我か子戀ひしもとほくきぬれは

叔父の二十五回忌に詠みてさゝけたる

君により鞭たれすはわか駒の
　ひなのあら野に迷ひいてまし

會を賣る、又修養會に代表者を出さん爲、思の催をして金を作る、又母校の増建の爲幾分金を作るなど丶會員諸姉が、力の限りを盡しの目的に實際的の働きをされる、この事が丶認められる様になりましたのは、誠に感謝にあります。

又一方の人々に云はせると、時間の少ない又い、經驗にも乏しい者共に、少しばかりの金でないでも、學校なり寄宿舍なり或は有福なりに出して貰つた方が容易ではないか、餘りてんな事をさせると、大切な學校の事がお留り易い、又高が知れた僅少のもの丶爲、其程

又どれ程盛んな會にしたとても、會館には以上は容れられません、それで如何に金儲をも勢一ぱいで四五十圓か出來ないのでありこの金を作るには大勢の學校の人々に頼み、勸誘する、手紙を出す、廣告をすると云ふ様

かだから餘計であるから、斯うしては不可、斯うするが可など丶額に依つて話をして居るのではありません、吾々は其精神を尊ぶ事を習はねばなりますまい。例へば東京市の女子青年會で修養會への代表者を送る爲に資金を作らんとて六月八日に一の催を致しました。多藝で有名な一米婦人の面白い人形つかひ、幹事で音樂に堪能な人のヴァイオリン、体操主任の雀踊と云ふプログラムで入場券十五錢として、友人等に來て貰ひました。同時にお團子、ネモン水、ピーナットなどで至極僅の利金を見たのであります。之も他人が見れば、手輕い事の樣ですが中々其運びに行く迄は、考も時間も勞力もか丶つて居

上より見れば、價値のないものであります、處が時間も、金も、藝もない者共が己を忘れて或る主義の爲に或は人の爲に盡すと云ふ其程美しい事は有ません、神が斯る賜物を本當に祝福して下さるのでありませう。丁度聖書に貧しい寡婦がレプタ二個、所謂

も勢一ぱいで四五十圓か出來ないのであり の金を作るには大勢の學校の人々に賴み、誘する、手紙を出す、廣告をすると云ふ樣含まれて居りますが、金の有る人々から見にも馬鹿々々しい事でせう。酒呑む人、煙、又物見遊山に日を送る人ならば、其位の底にでも潜んで居りませう、それだのに大騷ぎをして、僅の利益を得んとするなどは、經濟で、勉强の妨げで、又生徒に十五錢でをさせるのではないかと云ふ人もありまし大勢で一の事を目的として助け合ひつゝ、ると云ふ事の樂しみと、喜びと又其れに依る經驗とは、批評家には解らないのでありでも皆が無い所から、勤めてすると云ふのな祝福の與へられるもので、時間でも、金餘つて居る中からは、何をしても其は精神

爲に或は人の爲に盡すと云ふ其程美しい事は有ません、神が斯る賜物を本當に祝福して下さるのでありませう。丁度聖書に貧しい寡婦がレプタ二個、所謂ビタ錢二文を賽錢箱に入れた方が、金持がこれ見よがしに大金を投げ入れたよりか遙かに神には貴いのであると、エスが敎へられた事に相當して居ります、それ故私は各支部の會員諸姉が、色々修養會等の爲に、献金をし寄附を集め、製作品を賣つたり、バザー等を開かるゝ事を心より喜ぶものであります、何事でも自分の力に及ぶ事をして居るうちには、そのベストが必ず成長すると申す事は、事實であります。其故學校にあるうちに、靑年會等の仕事を共同的に助け、其責任を持つと云ふ事は、學校を出てから後により以上の責任をおふて、之を全くする事の出來る準備で御座います、もし學校に居るとき自分の勉强だけすれば、後は野となれ山となれと云ふ樣

斯う云ふ人に限り他人の事を冷評する事が上
つて、利己主義の塊となり易いのでありま
れですから學生ならば學校に盡す可き事、即
も大事でありますが、其他は何もせずともよ
ふ主義は教育の眞理を誤つて居ります。教育
斯る間違を持つて居る人も往々ありまして、
教授する學科だけが大切であり、其他は益な
害ありと云ふ說を、吐く人があります。之も
題で、何の程度迄科外のものを奬勵してよき
家の賢明にまかせなければなりませぬ、俗に
は、學校に居る間は、宗教等に心をとめると、
非常に進まず、氣が散漫して集注する事を忘

左に二三の手紙を拔萃して、如何に會員諸姉
美はしい精神に滿ち溢れて居るかを御紹介致
す。

其の一

規定以外の事を爲すのも又怠る可らざる事でありま
す、基督は之を斯く申されました、「人一里の行程を
知りなば之と共に二里行け」と。平たく申しますと
寄宿舍の生徒なれば、自分の室の前だけ掃除すれば
責任は濟みますが、序に隣の室の前も掃除してあげ
ると云ふ意味で御座います。物を一升賣りますのも、
一斤賣るにも、桝や目方の目を少し餘計にして與へ
る意味であります、之を精神の方にとるならば、自
分の爲す可き責任、學生にとつては學校の勉強に加
へて以上申しました樣に、他人の爲なり、外國の爲
なり、或は病院、孤兒院、苦學生等と直接責任以外
の事に力を盡すべきで、又其にて自分の修養が出來

開かれた母の會で買つていたゞきました。又教會の
方にも少し買つて頂きました。通學生は友達や家
へ持つて行つて賣りました。明日は愈々お金を
て送らうとして居る當日午後と云ふに、また百枚
く殘つて居りました、もう一働きして見ようと

美はしい精神に満ち溢れて居るかを御紹介致す。

其の一

軍慰問資金の一滴にもと、一番先に製造し初めたのは齒みがき粉でした。いろ〳〵の藥品を出來上らせ賣り初めたので御座いますが、味と云ふ評判で、初めの方はほんとうに賣り惡くました、前後二回拵へて三圓二十五錢の得ました。皆が忙しい處を一生懸命かきまはし後に賣り出しましたが、これは大變賣行がもつとあればよかつたと思ひましたが、時ませんので殘念でした、又繪の先生にお願し時間の一部を割いて頂き繪葉書をかき先生もすつて數枚お書き下さいました。次に本部百枚の繪葉書會が參りまして是を賣るに、大部分で生徒が買ひ、一部は宣教師に頼んで町に

へ持つて行つて賣りました。明日は愈々お金を纏めて送らうとして居る當日午後と云ふに、また百枚近く殘つて居りました、もう一働きして見ようと云ふので學校中持つて歩きまして、夕方皆賣つて貰ひました時の嬉しかつた事私共二人は思はず握手して喜びました。結果としては誠に僅の金額（金二十五圓五十九錢）ですが、青年會役員が口や手や足を働かせて、而かも喜んで盡しました其心根をお受け下さいませ、これでも慰問金の一部分となつて、歐洲の野に荒れすさんだ氣分を持つて戰つて居る兵士の一人でも慰める事が出來るかと思ひますと眞實に嬉しう御座います。

其の二

當校青年會宛御送附の記念繪葉書總數四百枚全部賣り切れ候まゝ、同封にて右代金二十圓御送附申上候間御落手遊ばされ度候、斯る榮ある御働を私共に

う御座います。三十日迄にとの事で御座いま
、二十九日に着きましたので、間に合ひませ
殘念に存じました。電報爲替にと思ひました
報爲替も割合に手間どると聞きまして、後れ
れでお送り致します。初めの分三百枚十五圓
が六百九十枚三十九圓五十錢殘りの五十錢は
少しでも手傳はしてやらふと思召して、度々
を見て下さいました感謝の徴意を表はす爲
年會の雜誌を二三冊送つて頂き度ので御座り
最初の三百枚が參りました時は、土曜日で丁
は當町の婦人慈善會の總會がありました　私
氣はなかつたのですが、少しでも知らせてや

六百貳拾圓五錢也　　有志者寄附
五圓參拾六錢也　　利　子
人計金壹萬七千四百貳圓七拾錢也
女子青年會支部及本部關係者の賣上金及寄附
如し。

に申しました。翌日教頭を通して許可されました。
何だかよく解つて居なかつた樣でしたから、大きい
趣意書を渡して、「私一枚も賣れなくともよいので
す、只この趣意が知らせ度のです、外に賣りに行く
考ですから」と附言しましたら、教頭がよく云く
て下さつた樣で御座いました。それから集會で皆の
前で話しました處案外皆買つてくれました。校長さ
「日本婦人の活働振りを!」と冗談云ひ乍ら二組買つ
て下さいました、嬉しう御座いました。

聯合軍慰問婦人後援會報告

金壹萬四千七百五拾七圓貳拾九錢也　繪葉書賣上高

金貳拾圓也　　盛岡女子青年會
金貳拾圓五拾錢也　　神戸女學院女子青年會
金拾圓也　　梅花幼稚園保姆傳習所女子青年會
金拾八圓五拾錢也　　共立女學校女子青年會
金拾七圓貳拾九錢也　　靜岡英和女學校青年會

計金壹萬七千四百貳圓七拾錢也

女子青年會支部及本部關係者の賣上金及寄附如し。

圓也　金城女學校女子青年會
圓也　宮城女學校女子青年會
圓九拾四錢也　弘前女學校女子青年會
四拾錢也　橫濱英和女學校青年會
圓也　廣島女學校女子青年會
圓也　遺愛女學校女子青年會
圓貳拾五錢也　福岡英和女學校青年會
圓拾五錢也　橫濱市女子青年會
圓　橫濱フェリス女子青年會
圓七拾錢也　札幌女子青年會
參拾五錢也　大阪女子青年會
圓參拾錢也　プール女學校女子青年會
圓也　ウヰルミナ女子青年會

金拾圓也　梅花幼稚園保姆傳習所女子青年會
金拾八圓五拾錢也　共立女學校女子青年會
金拾七圓貳拾九錢也　靜岡英和女學校青年會
金拾六圓七拾五錢也　梅花高等女學校青年會
金八圓也　クリスチヤン女學校青年會
金貳圓拾七錢也　廓清會豐橋支部木藤冷劍
金參拾五圓也　陶山よね子
金拾圓也　上野とし子
金拾圓也　渡邊都賀子
金四圓也　荒木幸子

寄附金

金八圓也　西上小浪氏
金五圓五拾九錢也　遺愛女學校青年會
金壹圓五拾五錢也　清流女學校青年會
金拾貳圓也　宮城女學校

（但し六月號掲載の分は省略）

存じます。さて從來の所謂避暑を見ますと、感心の出來ない事が多い樣でございます。甚のになりますと避暑に行つて反つて身体を惡話などを伺ひます。之れは今まで規律立つた居た人が、急に自由な所へ行つて不規律な、な生活をする爲めに、身体に緩みが出來るの身体の緩みと申しますと只だ肉体上丈けでは其精神上にも同樣な結果が現れるのです。肉事を申しますと食事などの不規律から胃腸をか、朝寢や夜更しをして腦を痛めるとか言ふりますし、精神上には恁んな時に限つて所謂すものでございます。

ませながら世間話でもしなければ仕方がなく言ふ段取となるのです。

小人閑居して不善をなすと申します。働く爲れて來た人間が二六時中、何にもしないで、

へられて居るようでございます。避暑地へ參つて見ますと直ぐ判りますが、婦人の方などは成べく用事をなさらぬようにして、仕事があつても只だ何所かへ押込んで了つて、ぶら〳〵譯もなく日を暮される方が尠くない樣に見受けます。

按摩の笛と溫泉場は附物のようになつて居ます。東京でも按摩の笛を聞きますと、何んとなく呑氣な溫泉場の事を聯想させます位ゐでございます。何故斯く按摩と溫泉場が密接な關係になつたかと申しますに、溫泉場へ行つた人達が長い一日、爲す事もなくぶら〳〵して居て終には自分で、自分の身体を持ちあぐむ事になるのです、仕方がないから按摩に身

仕事をして居る人も別に恥かしいとも思ひませんし、見る人も別に不思議とは致しません。之れなどは我婦人方の好くお考へにならねばならぬ事かと存じます。申すまでもありませんが我國は現在敵國と

小人閑居して不善をなすと申します。働く爲
して來た人間が二六時中、何にもしないで、
考へないで居ると言ふ事は出來るものではあ
ん。善い事を考へなければ結局惡い事を考へ
なるのです。仕事も捨て放し、書物も置き放
な事になりますと、今度はお茶を呑みたくな
お菓子をたべたくなつたり又花合せなども
なつたりするのです。

に申しますと私共が何にもしない時は、必ず
る事、不經濟な事、不衛生な事、不道徳な事
し居るのです。そこへ參りますと外國婦人の
學ぶべき事が澤山あります。箱根宮ノ下の富
テルは御承知の通り日本で屈指の大ホテルで
すが、あのホテルに滯在して居ます西洋婦
ますと廣廊下其外人の目に附く樣な場所で平

見る人も別に不思議とは致しません。之れなど
は我婦人方の好くお考へにならねばならぬ事かと存
じます。申すまでもありませんが我國は現在敵國と
戰爭を致して居るのでございます。少しの暇も之れ
を利用して御國の爲めに盡す事を考へねばならぬ場
合でございます。英、佛、米其他聯合國の婦人方を
見ましても皆な眞面目に、婦人の戰時の働きに就き
まして研究と實行に努めて居る場合でございます。
或人達は工場に電車に、停車場に男子も及ばぬ勞働
さへ致して居るのでございます。畢竟我婦人方が避
暑をなさる事の出來るのも之等の聯合國婦人方の力
によると言ふ事も出來る位ゐでございます。

我國又廣くは聯合國側の事を考へて見ましても、
私共は安閑として居られる場合ではありません。
ましてや避暑に出た方が一日何にもしないでぶらぶ
らして、毎日着物を取り替へ引替へ着飾つて用も無

の暇を過さずに善用して戴きたいと思ひま
れには小さい手仕事をなさるもよいと思ひま
袋繕ぎもよし、又器用な方は襟の刺繍、袋物、
をなさるとか、クリスマス等の贈物に高いお
けずに濟むように、又人様のお祝ひなどの用
かお造りになるも結構だと思ひます。タオル
を縫取りしたり、涎掛や、小さい靴下なども
にお子さんの、生れた時などには早速間に合
なります。先づ恁んなお仕事を暇々になさる
產的の一番よい道かと思ひますが、之の外消
も其避暑にお出になつた土地々々の、地理、
とか、植物だとか、動物だとかを實地に就い

□會　告□

八月號女子青年會　は九月號と合併號とし
九月一日發行す。兩修養會に於ける講演、
記事、會員消息を掲載す、讀者休暇中の經
驗談及感想等の御寄稿を歡迎す。此合併號
に限り一部金拾六錢(但し前金拂は然らず)

ギヨン夫人傳（續き）

――ウフハム氏の傳に據る――

森田松榮

―ウフハム氏の傳に據る―

森田松榮

かな朝のごとく輝いてあるべき新婚の日々な涙の雨に濕りがちであつてギヨン夫人は、えざる慰藉を神に求め、人に訴へ得ざる苦訴へやうと努めはしたが、年齢趣味の甚し弱の夫と、苛酷な姑を殆ど寸時も離れずに暮春の如き家庭に愛でいつくしまれ、漸く滿届いた計りの婦人にはなか〳〵に難く、試に神の愛を明らかに認めることは容易でなかり後、夫人の心が暫し晴やかに、雲間に光を仰ぎ見る心地のする時が與へられた。そ児の出産であつた。夫人は自分の前に安らかこの世に出て來た自分の分身を見た時、其胸はかつて知つたことのないわななきを感じたことであらう。感謝と歡喜と希望と、新らしい魂に添へて自分に與へられた義務と責任と。萬事の溢るゝ心地がしたであらう、然しそれは重くも苦しくもない愉快な樂しいものに相違なかつたことと思はれる。彼女は今世に出でた魂の爲に神を求め、神に祈り、神に頼らなければならなく感じた。彼女は苦しみのうちに自分の爲に神に求め叫んだ以上に、今よろこびの中に子供の爲に一入切な叫びを神に擧げるのを覺えた。四十歳に近くして初子を得たギヨン氏も、年若な夫人に感謝を禁じ得なかつた。さしもに冷酷な姑も初孫の顏を見ては、その母に剃刀の樣な眼を向けたり、惡罵を逞しくすることは出來なかつた。

減じた　もとより　堅き信仰あり、愛ある人
であつたならば、こんな事が一家の和樂に少
暗い影を投げるがごときことは無いに極まつ
し、殊に全財産の喪失などといふのでなく、
して巨萬の富は有つてゐたのである。然し金
ることを一生の仕事の樣に思つてゐて、集め
を知つて、使ふことを知らなかつた吝嗇家の
は、この損失がどうしてもあきらめ兼ねた。
も新婦は姑の不平と氣晴らしの的となつた。
るまでは此家は憂目を知らなかつた。困難も
嫁と一緒にやつて來たとか、切りに厭味を並
斯ういふ生活の中に夫人にとつて幼兒は如何

きて更に新らしく更に正しき見解を與たり。
我をば幾分自我より引離さんとし、以前より
の諦もて忍ぶべき新らたなる勇氣をば我に與
。」
して彼女は捻えたが、彼女に最も親しい強い

ることとなつた。周圍の人々が親切な上に都に住
れた夫人には居心地よく暮すことが出來た。其中、
夫人はふと大病に罹つて、恢復の望さへどうかとさ
へ危ぶまれた。某聖職は夫人が世に執着のない態度
を嘉して、神の攝理に服從する立派な精神と思つて
ゐたが、夫人自身は、それは謬つた見方であつて
自分が今世に執着を感じないのは、自分が世を享樂
することが出來ないといふ事に半ば起因してゐるの
だと認めてゐた。彼女の反省は彼女に僞ることを許
さなかつた。
「此病は我には大なる益なりき。そは激しき苦痛の
もとに忍耐を我に敎へしのみならず。世の事の空し

は神にゆき、彼世へ行つた。然し世は彼女の靈の
求、内心の渇を醫す何物をも有たなかつた。神の
に平安が無いなら、それは何處にも無いもののご
る。神を離れたなら唯永遠の亡びがあるばかりで
る。苦い經驗から彼女はこれを學んだ。絕えず

の諦もて忍ぶべき新らたなる勇氣をば我に與
」

して彼女は癒えたが、彼女に最も親しい強いれた。それは實母の死であつた。柔和、篤い彼女が敬愛してゐた異母姉な修道院の平和生活から天へ移つたのは、彼女が結婚する二とあつたが、二年後になつて彼女は又「他のはかにわけても貧しき人々になさけあつかり母に別れなければならなかつた。愛の深い平りかな人々殊に近親が去つた地は、いよ〳〵ゝ思はれ、反對に其らの人々が住みに行つたハ尊くなつかしく思はれて來た。近親の死は深い悲嘆を齎らしたけれど、絶望や不信は斷かつた。否、母や姉の信仰は力強くなほ活き彼女を鼓舞し又反省させた。

の信仰は善い方へ進んでいつた。彼女は前に平安が無いなら、それは何處にも無いものである。神を離れたなら唯永遠の亡びがあるばかりである。苦い經驗から彼女はこれを學んだ。絶えず神を求めやうといふ決心はすぐ實行にあらはれた。彼女はまだ高い信仰の堂奥には到底し得なかつたけれども、純粹な熱誠な志は嘉すべきものであつた。虚榮心を增したり刺戟することを恐れて鏡の前で過す時をずつと減した。人にもてはやされる容姿をもつた年若な貴族の婦人には容易なことでは無かつたらうとやさしくもしほらしい。又自家の僕婢の爲に信仰上の益となる事をし初めた。又嚴密な内的生活の記錄をつくつて、反省矯正をし、安息日を嚴守した。彼女の信仰は堅實に進んで行つた。又書籍を嚴重に選擇して、信仰を養ふ書を讀んだが、殊にトマス・ア・ケムピスの「聖範」と少女時代愛讀したセールの聖フランシスの書とを愛讀した。（若し讀者姉妹の中にまだ「聖範」をお讀み

人は今は堅い信仰に、此世の與へ得ぬ慰安を得る心の幸福な人であつた。ギヨン夫人の日々にゆく勢ひ信仰はその敬虔な婦人によつて益ふかめられた。ギヨン夫人が他に對して種々な慈善をすに、「あなたは活動的な生活の德、即ち外的の外的の行爲の德は有つていらつしやいますけ哀なる生命の眞と單純が缺けていらつしやいと、眞に信仰の友のみが云ひ得ることを憚りあつた。ギヨン夫人は當時まだ信仰に由らず行ある信仰を求めてゐたことを心づかずにゐたのあらう。即ち神に於けるよりも寧ろ自身の中に信置いてゐた程度であつたのだけれど自らは意識なかりき。かかる努力を抛ち偏ら神に信頼してのみ得らるるものを、我はおのれの力によりて得んと望みしなりき。」

翼なくして地にある我らが有てる信仰も、一階々々を登りて天業に達する。或時は人々の惡罵冷笑によりて進み、或時は先輩法友の鼓舞指導によりて進む。一は辛く、一は樂し。されど進むる所は一つである。聖主が惡魔の試誘を受け給ふ時の記事は如何に？「イエス聖靈に導かれて」とある。「凡ての事は神の旨に依りて招れたる神を愛する者の爲に悉く働きて益をなすを我儕は知り。」（以下次號）

親睦會の記

平岩末子

料金十五錢」と貼り出した受附の箱は見る見會の支出を助けて思はぬ自他の幸福を贖つたと云ふ一種の快感を湧きたゝせた。「うれしや東京 青年會のへだてぬ友だち今日集ふなり」と會歌ゆかしく餘韻の盡きぬに先づ二人の樂人が紹介された。ミスギーの眞白く細い御手に挾まれたヴァイオリンの

平岩末子

金十五錢」と貼り出した受附の箱は見る見まつて會場は定刻の二時前にはや赤や青や涼しげな帶の装もて彩られた淑女の花の野つた。

の花瓶に無雜作に投入にされた濱菊の風情棄姉君に伴れられて席に着く可愛らしい孃さんくした黑髪の上に蟬の羽根とも擬はるゝ薄いそこゝに聞ゆる輕い衣擦の音、會釋交は强めきに夏の情趣は漂つて居る。

と雜音が止んだ、未だ照らぬ山の端の月に誘山頂にパット咲き出た一輪の月見草の微笑の百花が惹きつけられたやうに、淡い其花のームの洋裝姿の渡邊幹事の靜かな開會の辭にが胸の裡に入口で挑つた白銅三つの光が修養のへだてぬ友だち今日集ふなり」と會歌ゆかしく餘韻の盡きぬに先づ二人の樂人が紹介された。ミスマギーの眞白く細い御手に挾まれたヴァイオリンの弓の一觸に名曲Humoreskeの調は始まり流も淸き小川の響してメロデーは淙々と進み行く。流は燥急つて佳調に入るや川底の小石が音を立てゝ和するが如くピアノの伴奏が嫋々と韻を殘す。「オンコルド」の拍手は聽集が再び河邊の恍惚境の歡樂に醉はされる迄止まなかつた。

頓て無慮三百の心靈が現實界に歸つた時プラットホームは昔東洋の文華の中心であつた支那の情緒が漲つて居た。シエレンセスキー孃指導の人形芝居と銘打つて觀客の歸待と好奇心をそゝつてゐる一塲の物語は斯うである。或支那の國王に桃の花姫とて花にも優る美しい容姿と心生を備へた一人の愛姫があつた。名花は人の所望する所此佳人も隣國の青年

を出して笑ひ崩れる切下の御隱居樣さへ見え
れの世紀何れの國土にも忌まはしき嫉妬の惡
在する。此王國に其劣情の權化として現はれ
はレモンてふ一人の侍女、「私クヤシイ私ノ方
ガ美人私姫サンニナリマス」。猿智惠を絞り惡
して王妃の榮冠をうま〱奪ひ終せようとし
一髮の所で雲井の女神に看破されてレモンの
姫は元の榮えに歸つた其刹那正義に味方す
心理の悦びは堂に溢れた。鎖國の長城を築い
の民をして一歩も內地を踏ますまじとした秦
忘に起つた插話をこゝ江戸の眞中で日本語を
探る西洋婦人の奇才と奇辯とをよすがに窺ひ

積むだ籠を手にしていそいそと繰り出された。歌舞
伎帝劇であれば幕合に別室の珍菓や淸凉劑に憩を得
度い場合である、忽ちに篤志貢子隊の手は空になつ
て仕舞つたパチパチと椅子が疊まれて室外に運ばれ
る。立錐の地もなかつた觀覽席は一瞬の間に廣い舞
踏場と變つて四方の壁に沿つて八重の人垣が作られ
た。黑のシルクの舞踏衣の扮裝甲斐々々しいホンダ
女史の日本風の優雅な御辭儀を合圖にマーチが鳴り
出すピアノのリズムの機微に步調を合せて兩手をヒ
ラリと擴げ天空指して飛ばんとする表情恰も水邊
に翔け下りて水に嘴を啣がんとする巧妙さは飛ぶ事
が生命である燕も若心あらば恥死するであらう。燕

つて猶各自の眼の底に殘る翼の妙技の幻
ぬやら身動きもしない人垣の中心點に加藤
介に連れて態度嚴かに直立されたのは女子
の精神の眞髓の象徵で有る河井先生であつ
は徐ろに口を開い

熱した顏に吹きかかつて心地のよい事限りない。嗚
呼、今日多大の祝福を我等に齎らした大正七年六月
八日の太陽は靜かに西の空に沈みかゝる。
樂しさを包み兼ねて會歌を口吟みつゝ家路に

介に連れて態度嚴かに直立されたのは女子の精神の眞髓の象徵で有る河井先生であつは徐ろに口を開いて今夏の神戸と仙臺との多くの出席者あり度き熱望を述べられ更に瞳の閃を遠く四方に放つて語調を強め女の何たるかを說かんとて仰せらるゝにはの此社界の今から廿年後はどれ程發達してう青年會員たるものは單に現代に善事を積て事終れりと致しませんで常に精練されたに奉仕の成し得る、より精練された婦人と共に修養し共に準備する、其一致協同の努を深く基督敎の精神に置いて世に立つて居結で御座います」と滿堂の婦人の聽力を注して何ものかの感慨を與へて止まない先可からざる魅力ある御雄辯が終ると同時に

今日多大の祝福を我等に齎らした大正七年六月八日の太陽は靜かに西の空に沈みかゝる。樂しさを包み兼ねて會歌を口吟みつゝ家路に急ぐ一群もあつた。

一交換手に代りて

なでしこ

六月八日。薄紅の夕日大空に薄れ行く頃私共七十人許りの局員は忙しい受話器から手を離して監督の內藤樣を先導に袂を列ねて神田の女子青年會館にと急ぎました。先二階の瀟洒とした居心地のよい應接間に通されて疲れた足を休めて居りました。やがて先生方の御案內で一同が續いて會場に這入りました。廣い室には椅子が大きな輪を作つて私共を待

した。初めて御目に懸つた私でさへ親しい御
やうな又何でも訴へ度いやうな感じのする先
口から捧げられた御祈禱に私は心を合せて祈
らしたので御座い升。
御國に參り第一の機會に貴女方事務に從事す
人に御話する事を光榮に存じます」と滿面に
へた御挨拶のもとに御一人の丈高い西洋の御
御演説、河井先生の御明晣な御通譯により言
はぬ異國の方の御誠意に共鳴する事が出來ま
伺つて居ります間に私の頭の中では自分の職
する考が一變してまゐりました。道に行き
動車上に見る美しい衣の貴婦人達の生活の華

靜寂と嚴肅さとを破つて滑稽な人形芝居が始つた。
加藤先生始め先生方總がゝりで、威風堂々たる王者
の聲色やら、いたいけな御姫樣の細い聲、子守歌の
やうに響く天女の囁きが聞えるかと思へば荒くれ男
の呻き聲、まあ私達は我を忘れて笑はされました。
幕が引けて喉を潤ほした一コップのレモン水はどん
なに涼しく胸を流れて通たでせう輕い御菓子を摘み
乍ら燕ダンスを拜見する。蠟石の人形の如うな西洋
の御婦人が手足の伸縮自由自在の舞踊の美に何時し
か思ひは遠く三保の松原を聯想し、こんなに天女が
舞つて舞つた後で羽衣を松が枝に忘れて行つたので
はなかつたかしら、感極つて御賞め申す言葉が出ま

した。
殘らずが椅子取りに加つて汗を出す程に打ち
惜しき御暇を告げたのは九時過ぎ、家路に辿
神保町の四角に歩き出しました時、眞黒な闇

の翼で蔽はれた街頭を照らす眩い燈火と電車の
しい音に夢心地を醒まされた私は瞑默して切に祈
のでした今宵の淸き享樂から永久に醒めない事を

信しき御暇を告げたのは九時過ぎ、家路に辿
柳保町の四角に歩き出しました時、眞黒な闇

のでした今宵の淸き享樂から永久に醒めない事を。

粉屋と花作り（つゞき）

文子

人は眼を擦りながら「御氣の毒樣、僕は餘りもんだから床の中に暫らく居たのです、私は、それは早起なんです」

は結構だ」とハンスの肩を輕くたゝいて「とぐこれから着物を着て粉小屋まで來て俺の屋根をなほして呉れないか」

は畑で働く事を氣にかけてゐました、花に水をやらなかつた、といふてよい友となり粉屋に反對するのはいやだし「忙しいと云へ人らしくない事になりますかねー」と心配の無い聲を出しました。

「よろしい、實際手押車の事を思へば、それ位何でもないと思ふか、しかし君が斷れば俺が自分獨りでやるまでさ」

「イヤどうしてどうして」と床から飛び起き着物を着て粉屋の納屋に行きました。

やがて「ハンス君屋根の穴の修繕は未だ出來上らないかね」と愉快げに粉屋は尋ねました。

「大體直りました」と梯子からおりて申しました。

「あゝ、一體人間が他人の爲に働く程、愉快な勞働はない」

にさう思ひますかね」
となれるよ、然しもう屋根も繕ふたから歸つた方がいゝ、又明朝は俺の羊を山まで連れて貰ひ度いから」

恐にハンスは是に對して一言も云へませんで翌日ハンスは粉屋の羊を連れて山にゆきその半日掛りました、歸宅するやもう疲れ果てゝけたまゝ居睡り翌朝太陽が高く昇るまで何もに寢て仕舞ひました。

の畑で働く位愉快なことはないとすぐに働きしたが粉屋は始終つきまとつて切りなしに用を頼みました。

しますゝすぐ出掛けませう、けれど提灯を借しはくら闇の晩ですからひよつとすると堀のるかもしれません」

な事に提灯は新しいからもしどうかすると非る」

借、或る夜、ハンスが爐の側に居ると、戸をドンドン叩く音がします、初めは風の音だと思はれる位にひどい恐しい嵐の晩でした。

「誰か旅人でもあらう」と獨語を云ひ乍ら、戸を明けたら例の粉屋が提灯を持て立つて居ました。

「ハンス君、どうも大變なことになつたんだ、梯子が落ちて子供が大怪我をした、今私は醫者の處に行く處だ、然し非常に遠いし生憎とこんな晩だし、そこで思ひ出したが君に行つて貰つた方が好い、俺は手押車を上げ樣として居るのだから何か立派なことをするには恰度いゝ機會だ」

「ようござんす、貴方が御出で下すつたに對しても

たので葬式には彼も誰も行きました、例の粉屋はハンスの最も親しい友だから最上席を占めるのは自分より他にはない」と云ふて長い黒い衣をつけ葬列の眞先に立ち時々大きなハンカチを出しては眼を拭いて居りました、近所の人は皆ハンスの死をしゆく

るかもしれません」
事に提灯は新しいからもしどうかすると非
る」
しい御心配なく、私は提灯が無くても大丈
し寒さの身仕度して出掛けました。
、暗い晩で風が強くつて吹き倒されそうでし
ンスは中々剛の者だから三時間の後には醫者
着いて粉屋の息子の事を頼みました、醫者は
急して粉屋を指して馬を急がせました、ハン
のあとをトコ〳〵ついて行きました、嵐はま
烈しく雨は土砂降りとなりました、ハンスは
て見失はない様に一生懸命でしたがとう〳〵
ひあはれにも泥水の一ぱいになつて溢れて居
落ちて仕舞ひました。
ハンスの亡骸が堀の中に浮いて居るのを羊飼

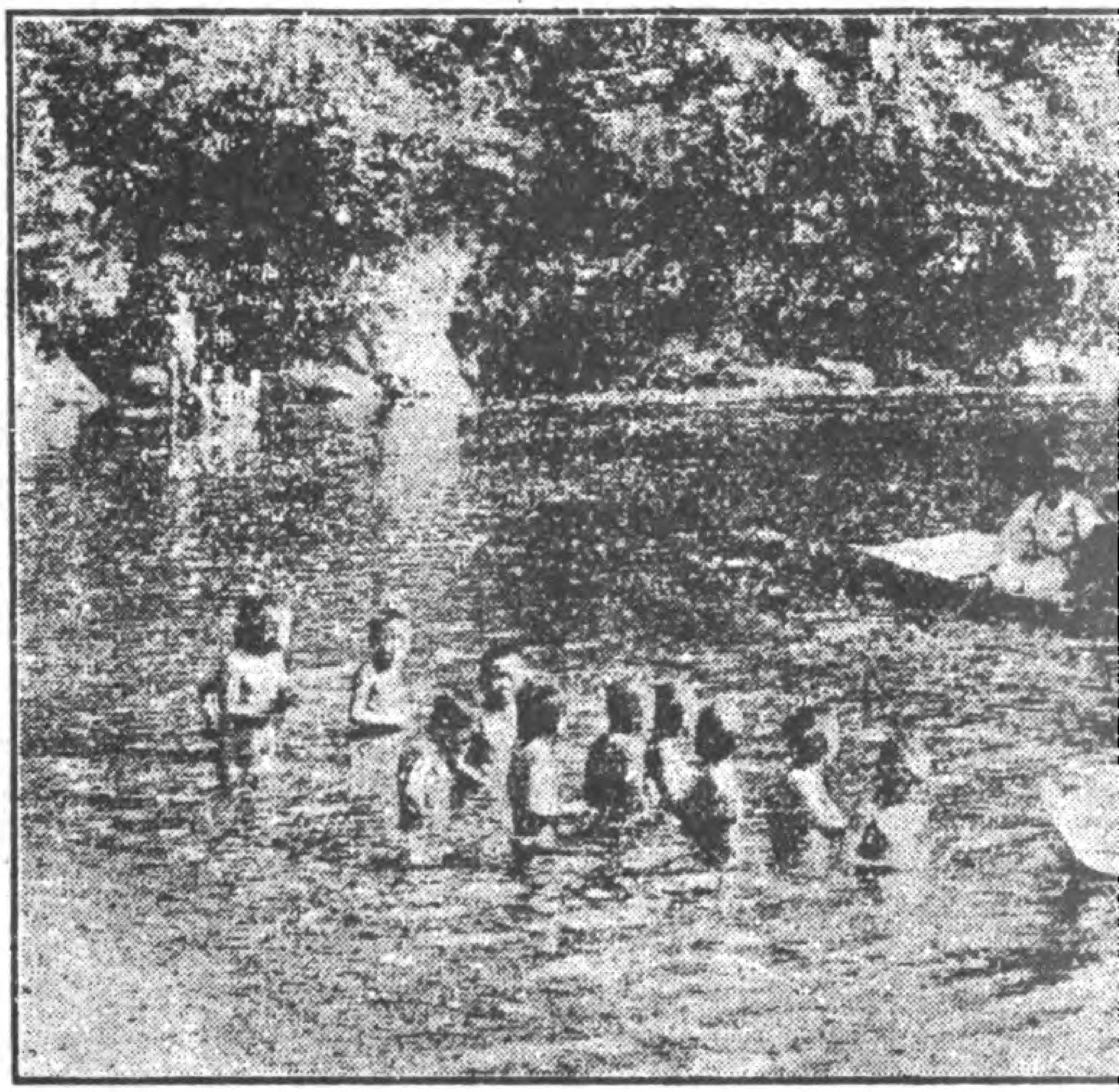
より他にはない」と云ふて長い黒い衣をつけ葬列の眞先に立ち時々大きなハンカチを出しては眼を拭いて居りました、近所の人は皆ハンスの死をしみ〴〵と悼みました、人々は町の酒屋に集つて愉快に濁酒を飲みなどしました。

「兎に角、俺には非常な損失だ、俺は手押車をやるなんてあんまり人が善過ぎるのでこんな事になつた俺のする事は何時も此樣な立派なことだが結果はこんな惡い事になる、あゝもし手押車を賣ればこんな事にならなかつたらうに、俺はこれから決して人に物など遣らないと決心した、人間は善良だと本當に苦勞するものだと申しました。

此の物語の中から得られる敎訓は皆樣の御考え次第に御委せいたしませう。

「オスカーワイルドの短篇の中には隨分美しい優しいものも多くありますが、此處には梗概をあげました大分皮肉的のものであります。然し若々樣に依つ

文欄



事と村の小供（伊勢にて）

方に聯絡をもつて居る中央局で、其所に勤めます者共は非常な責任を持たなければなりませぬ。

この局に四人の若い交換手が居りました處が急に或る邊僻な所から電話が掛つて來て、其地方一面を廻ぐつて居ります川の水源地から大洪水が起りつゝあるとの報知で御座いました。四人は直ちに其受持地方を四つに分けて、一人が一部づゝを引受け、其の電話の通ずる所は皆通じて、洪水の來る報知をしました。四人は夢中になつて電話を掛けて警告しました處が、或る場所では電話の掛るより早く水が來たものと見えて、電線の不通になつた所もあつて、四人は益々早く其の警告を力限りに與へて居りまし

人のうち一人の年重な交換手が、電話を掛けの暇に他の者に向ひ、アレス貴女は病氣なおがあるから、水が來てもし萬一の事でもあるたから、貴女の殘りの部分は引受けるから、

らせねばならぬ所があると思つて、踏み止まりました、其所は谷間にある一つの小さな村で、其處は水が來るならば、必ず洗ひ去られる様な危險地でした。

彼女は熱心に呼び出さうとしましたが中々通じませ

貴女に病氣な

あるから、水が來てもし萬一の事でもある
から、貴女の殘りの部分は引受けるから、
りなさい。メリー貴女は、足が惡くて水が
通の人の樣に逃げられないから、水の來な
にお逃げなさい、雷話の掛け殘りの分は私が
から。マーガレット貴女は妹や弟があ
貴女を賴にして居るのだから、無暗の事をし
ませぬ、殘つた部分は私が掛けるからと、
に三人の交換手に逃げる事を申告しまし
は其折貴女を置いて逃げる事が出來るもの
ましたが、交換手は倘熱心に勤めて疾く疾
たてますので、三人は其所を去つて逃げ出
。居殘つた彼女は、死者ぐるひに洪水が來
來ると方々に傳へて居るうちに、足下が旣
つて參りました。水量の增す事が實に疾い

た。其所は谷間にある一つの小さな村で、其處は水
が來るならば、必ず洗ひ去られる樣な危險地でした。
彼女は熱心に呼び出さうとしましたが中々通じませ
ん、遂に通じて洪水が來ると叫ぶや否や轟然たる音
がして、自分の居る所に洪水が一勢に押しかけて來
ました、彼女は居たゝまれず二階に行き、それから
屋根に上り救を待つうちに、其家はプカ〳〵と浮び
出しました、彼女はまる一日寒い日に暴風雨に晒さ
れ、危ふい浮んだ家の屋根の上で送りました爲、遂
に失心してしまひました。やがて流れ家が他の流れ
て來たものとぶつかつて、或所に挾まつてしまつた
のを幸と救助人が來て、この交換手を救ひ上げま
した、色々な方法を盡して、彼女を蘇生せしめた所、
周圍の人が間ふ事には何故貴女はあの樣に危險にな
らぬ前に逃げ出さなかつたかと尋ねましたら、彼女
は微笑して「何だか知りませんが、私の心の中に之

439

〱して鬱陶しかつた梅雨も漸く霽れて清々
ある日曜日の朝、春子は弟の清吉を伴れて敎
かけました。

曜學校は始まつてゐました、清吉は
ん、「モー遲いのね」
乍ら一足先きに驅け込みました、春子は弟
てた下駄を自分のと一緒の棚にのせて、中へ
ますと、すぐ組にわかれました、清吉は信の
春子は百合の組にゆきました。

卒業後は春子も兎角休みがちでしたので、百
も久し振りでしたが、生徒は大分變つてをり

ことを思ひ廻らしてをりました。

のウジヤ王といへば實に偉い盛んな王樣でし
神樣がお許しにならぬのに神殿に入つて香
といたしました、祭司の長といふお役人が
お止め申しましても、怒つて聽

とお返事いたしました、先生のお話は以賽亞書の
章一節以下

「あの讃美歌の中に聖なるかな聖なるかなといふの
がありませう、それは今日のお話のうちにありま
す。

昔イザヤといふ豫言者がありました、豫言者とい
へば何のことか御存じでしたね、神樣の御啓示を
受けて傳道する人ですねえ。

此人は立派に學問をし、身を修め、熱心に敎を傳
へてゐましたが、丁度時のウジヤといふ王樣が、
神樣のお叱りを受け世にも恐ろしい癩病に罹り御
崩去になつた年のこと、靜かに神樣の貴いこと

「あゝ大變です、大變です、私はこんな所にゐ
ら滅ぼされて了ひます、私はこんな聖い所に
られる者ぢや御座いません」

と大きな聲を出しました、するとケルビムの一

神様がお許しにならぬのに神殿に入つて香
うといたしました、祭司の長といふお役人が
しお止め申しましても、怒つて聽入れません、
し亂暴にも焚きましたから、忽ち神様のお怒
觸れて、癩病になりました。
は王様が其病のために逐々おかくれ遊ばし
た、ツク〳〵神様の聖いことを畏るべきことを
ましたが、いつしか夢ともなく幻ともなく、
の寶座が見えてまゐりました。
不思議と思つてゐると、こんどは神々しい
降りて來る、それから翼の六つあるケルビム
ふ天使が、幾人も、その周圍を飛びかけ乍ら
なるかな、聖なるかな、
軍のエホバ
の榮光は全地に滿つ」

し遊ばされて了ひます　私はこんな聖い所に居
られる者ぢや御座いません」
と大きな聲を出しました、するとケルビムの一人
が、側に來て
「あなたは如何したんですか」
「ハイ、私は是まで自分を立派な者と思つてゐま
したが、神様の聖い〳〵榮光を仰ぎみましたら
とても〳〵自分は聖いどころか、汚れて〳〵恐
れ入つてしまいました、如何したなら聖い人に
なれるでせう」と申しました……」
先生のお話は春子の胸にヒシ〳〵と應へました、そ
して神様の壇の上の火によつてイザヤが聖くなり
頓て「我、誰をか遣さん、誰かわれらの爲に往くべ
きか」といふ神の御聲を聽いて、立派な豫言者にな
り、神様の御爲に苦しみもし難儀もして善い働きを
したといふのであります、春子は化石にでもなつ

とやら說教にあつた。イエス樣が多くの人のるために世に臨り給ふたことなどを深く考へかに立ちゆく煙の中に 幻の動くやうな氣分ました。

は此間ぢう悶え苦しんだ自分の罪、小さな心な手足によつて、イエス樣の御心を痛めた罪き十字架の御贖によつて赦されてゐることく然と解つて、光明と平和とが降つて自分の心れた樣に感じました。

からといふもの、春子の顏は晴れやかになり、自家の貧しいことも、女學校に入れないこ毎日の野良仕事も少しも辛く思ひません、却

本部報告

京濱支部役員會　六月二日午前十時から東京と横濱との女學校内の青年會役員聯合會が、神田の會館で開かれました。折惡しく色々の會合と時日が衝突しましたので、本部學生部の委員が御出席なく、ミスマ

永かつた夏休みの夢のやうに過ぎて、澄子さんは再び横濱に向ひましたが、春子は秋風のそよぐ畑に働き、栗や柿の收穫や年貢米の苅入れの手傳をしたりして、次第に淋しみの深くなる田舍に秋を送ることになりました。けれども

「われ誰をか遣はさん、誰かわれらの爲に往くべきか」

とい ふ聲が、春子の心に益々強く響き、遂に志を決して、將來婦人傳道者として立ち、弘くイエス樣の敎を傳へるために勉強しやうと、柏岳を後に東京の某女學校に身を寄せたのは、其翌年の春でした。

（おはり）

かゝる會合は皆さまの迷惑にならぬ時期を見計るべきもので、今回のは或は試驗近くになつたかもしれません。或三四人のニコ〳〵した御顏がまだ目にみえて居ります、其方々は來年も又ニコ〳〵して御出席下さると思ひ樂しんでいます來年は必らずより良き會合が來ましよう。

東京女子青年會　五月廿四日午後六時半、英語社交會例會を

京濱支部役員會

六月二日午前十時から東京と横濱との女學校内の青年會役員聯合會が、神田の會館で開かれました。折悪しく色々の會合と時日が衝突しましたので、本部學生部の委員が御出席なく、ミスマシウも大阪で、其の上に準備が整はず來會者に氣の毒ました。而し大勢出席して少しても御知合になりましたのは存じます。此日に横濱からは共立、英和、捜眞の三校、東京、東洋英和、女子學院、女子英學塾の四校が代表されましハタビングが北米加州女子青年會の事を御話し下さいましての訪問看護がどの位皆の助となつたかを談られました。協議で四組に別れましたが、時間が短かくて充分の事は出來ませた。中食は體操場て一所にしましてなか〳〵賑かでした。河井幹事の奨勵と、質問會、祈禱會がありまして、三時半にお團子との御馳走があり、其から、シエレセスキ氏の人形つ大評判でした。折角面白い此催を御覧にならて御歸りなされ方を御氣の毒に存じました。四時半散會。

種類の會合を致すときは一晩泊りにしないと來會者の氣も落し、又親睦も六ケ敷とおもひました。又委員の方でも最と熱って出席して貰ひませんと活氣がつきません。來會者も最といないと、何も得る處がありますまい。今日は午後から作なくてはならぬからと云ふ様な御顔をなされたり、出席はたが止を得ずに來ましたのですから早く歸りますと云はん斗た御顔がまだ目にみえて居ります、其方々は來年も又ニコ〳〵して御出席下さると思ひ樂しんでいます來年は必らずより良き會合が出來ましよう。

東京女子青年會

五月廿四日午後六時半、英語社交會例會を會接間にて開く。「聾啞の教育に就きて」、との演題の下に該教育には多年の研究を重ね且卓越せる見識と抱負とを有せらるゝライシャワ夫人の一場の御講話は語學以上に得る所甚大なりき、來會者約六十人。

(二)六月十二日。來朝中なりしエデー夫人加藤幹事の案内にて王子東洋紡績工場を訪問視察せらる。

(三)六月八日。午後二時より會員親睦會を、同午後六時より本局話交換手の慰安招待會を開催せり「記事参照」。

(四)六月十六日。讃美禮拜、特に米國修養會の經驗談を聞かんが爲集合す。星野愛子女史は彼地の修養會の深刻なる靈的方面を說かれ國井女史は懐しき追憶の一端を語られ、加藤幹事は事務上完備せる點を高調し、最後に其盛大なる會合の背後には熱誠なる準備のあた ある事を感嘆して止まざる渡邊幹事の所感を以って閉會したり。

(五)王子の新事業、本會にては今般田丸よれ子氏に委任し、事務所を王子岸町六〇〇基督教講義所に置き巡回産婆看護婦事業を開始したり。物價騰貴の今日産婆を雇ふ資力乏しき貧民に便宜を與ふるを以て目的とす。

其他該地に於ける婦女工の教養の爲益々貢献せん計畫にて其方法手

……純益金五百圓

りました、是は横濱女子青年會の基本金になります。

四日には、五十餘名程の女子青年諸姉を集め河井先生に御講ひました、集會後ピアノに足並揃へて河井先生とミス、ペー先頭に進行遊戲をし皆小學時代の昔に歸つた樣な無邪氣な氣つて散會致しました。

一日にはミセス、エディーの講話會を開き二十名程の青年諸られました、其他英語談話會や聖書の組、一ヶ月に二度宛大學校(市立)の生徒平均二十名位宛集り、親睦しつゝ青年會の主義等を覺えて頂く樣にして居ります。又仕事をして亦十字、戰國亂の傷病兵の爲に手製の品を造ります。

人の爲めに、移民事業をして居りますこれは私共靑年會の大事です。

女學校靑年會

繪葉書と主意書を御送り下さいましたの方で前申上ました樣な事情により、聯合軍慰問部寄附が遂にれましたので、主意書を御催促と早考へ致しまして申譯ないしゃした。繪葉書は早速販賣致しましたが、丁度當校の遠足

消息

ー、エス、エディー。米國基督教青年會同盟本部幹事としるエディー氏は夫人と共に歐洲戰地に活動し後印度支那傳ご三ヶ月を費し歸米の途路東京に三日間滯在されたり夫人年會館にて幹事全體の爲に一回、外國婦人等の爲に一回の

同志社女學校靑年會

去る四月には我少女部に新たなる十數名の姉妹を迎へ申候。尙この少女部よりして洗禮を受け、より高き信仰の道を步み行く姉妹も多く有之候、同部の設置は日もまだ淺く設備調はず方針も確定致さず候へど、この意氣あらば他日見る可きもの有らんかと存じ申し候、諸先生の篤きお祈りと御援助を希ひ候又過日米國より美はしき、繪カード送り來られ候へば、當校ミス、アレトンの御指圖にて少女部の事業とし、ノートに其繪を貼りアルバムの體裁を具へ、花祭りの際花と共に諸病院に配り申し候このアルバムは館程病者の慰藉となりしと見え、長き禮狀を逝々送り來られし兄弟もあり意外の成功によろこび申候、又三谷先生の來訪を受け有益なる講話を受けし事もあり、只感謝致し居り候、されど一方例會等に出席者の減ずる傾向あり又種々の困難も湧出し來り候へども、是等がありてこそ、會員への痛切なる激勵役員等への感謝すべき鞭撻とも相成候へば、何れも神の御攝理と存じ會員一同益々奮勵活動致す可く候。

友垣

津山陶山百合子

○

私が學校にていろ〱困難な事がありましても、尙後に强き力あり、一層主義に向つて進む樣に導かれて居る事を忘れないて努

ー、エス、エディー。米國基督教青年會同盟本部幹事とし るエディー氏は夫人と共に歐洲戰地に活動し後印度支那傳 二三ヶ月を費し歸米の途路東京に三日間滯在されたり夫人 年會館にて幹事全體の爲に一回、外國婦人等の爲に一回の れ出立の朝横濱女子青年會にて講演されたり。

、ケー、エディー。夫人はエス、エディー氏の令姉にして る米國女子青年會の理事なり約一ヶ年間を支那に送り六月 せらる滯在の日短きを以て充分に日本の視察を遂げ得られ は札幌より函館仙台等を河井幹事と共に巡訪し關西地方は シウと共に視察さるゝ事となれり。

カフマン。六月五日解纜のかも丸にて令妹の御結婚式に列 且又青年會の用務をおびて歸國九月中旬頃には再び東京に 豫定なり。海上より無線電信にて「愉快なる航海」との報

タビング。今秋より神戸女子青年會開始の爲渡來されし同 下東京牛込田町三ノ十二にて日本語研究傍ら諸姉を助けら

夫妻。アラビヤ地方宣教師とし又有力なる說教者として米 なる博士は夫人令孃と共に青年會を訪問されたり。

フオンダ。ミス、マクドナルドと共に朝鮮視察の爲十四日 事。ミセス、エディー及び同氏の令妹と共に東北支部視察 日出立す、十三、十四日は仙臺、十五、六、七日は函館、 九日は札幌にて歸途弘前盛岡の支部を訪問す。

どり姉。齋藤秀三郎氏の三女なる同姉は七月三日天洋丸に スレーカレーヂノハート先生と共に米國留學の途につかる

○ 津山　陶山百合子

私が學校にていろ〳〵困難な事がありましても、御後に强き力があり、一層主義に向つて進む樣に導かれて居る事を忘れないで怒力して、旗色を明かに何處迄も二〳〵主義を通して行く樣に話して居ります。色々の出來事にあつて見て、始めて宗教の有難味が解るので御座いませうれ、苦しいには違いないが愉かに樂しみらしう御座います。先生から御送を願ひました繪葉書について色々の面白い經驗を致しました私が先生にお知らせする材料が澤山出來たと云つて喜んで居ります、私もお暇を頂きまして廿日に立ち廿一日に京都に參りまして二三日遊び廿五日に當地に參りました。

○ 鳥取　増井花江

いよ〳〵學校を去り、此方へ參りますとなつかしい事が多くて學校に居た時分の事や青年會の事等常に頭から離れません此頃最も喜んで居る事は自分が昨年一年間青年會長として働いた事てしたこれにて色々なる經驗を得色々と學ぶ所あり又青年會に對して深い興味を持つに至りし等皆々其賜物てあります今此處ては愛眞幼稚園改築費用五千圓募集の爲め婦人會王女會も働いて居ますバザーもよい結果てした皆様よくお働きなさいますので私も感心致して居ります

○ 北原延子

私共は京城より一寸離れた所へ引移りました、電車の便が御座いますから教會も京城の日本基督教會へ參ります此家は大層高臺て眺望が誠に宜しう御座います。

○ 加洲ローサンゼルス　大谷ろく

皆様方が愈々御元氣て御活動遊ばさるゝ御様子お喜び申して居ります又日本に於ける女子青年會が益々盛になる事を伺ひ私迄が勵ま

て下さいましたそして益々主の御事業の爲め盡されはなら

へて下さいましたので神の御攝理を感謝致して居ります。

寄附金會友會費雜誌代及び萬國女子青年會本部負擔金領收報告(本部)

金

也　クリスチャン女學校青年會
也　捜眞女學校青年會
也　青山女學院青年會
也　女子英學塾青年會
也　時任チカ子殿
也　ミセス、フイッシャー
也　森村開作殿
也
也

業負擔金

也　横濱女子青年會
也　東洋英和女學校青年會

費

也

子(大正七ノ四—八ノ三)　時任チカ(大正七ノ三—八ノ二)
直(大正七ノ五—八ノ四)　バーメリー(大正七ノ五—八ノ四)
七(大正七ノ五—八ノ四)　シュネーダー(大正七ノ五—八ノ四)
也(大正七ノ五—八ノ四)

ン　エルウキン　スペンサー　デビトソン　クローソン

雜誌代

金八拾錢也
安東豐子(大正七ノ六—八ノ五)　金内ちゑ(大正七ノ六—八ノ五)
ビゲロー(大正七ノ三—八ノ二)　相田てい(大正七ノ五—八ノ四)

金壹圓也
武田そめ(大正七ノ四—八ノ三)　渡部トク(大正七ノ四—八ノ三)

金參圓四拾四錢也　横濱英和女學校青年會(六ノ十一—七ノ四)

金參圓四錢也　廣島女學校青年會

金四圓七拾貳錢也　横濱女子青年會

「女子青年界」定價及廣告料

定價郵税	内地	海外
一部	金八錢	金拾壹錢
一年前金	金八拾錢	金壹圓貳拾錢

廣告料	一回掲載
一行	金五拾錢
四分一頁	金五圓
半頁	九圓
全頁	金拾五圓
年極又は回數により割引有	

大正七年六月廿八日印刷納本
大正七年七月一日發行

發行所　神田區北神保町十四番地
日本基督教女子青年會
電話本局五九八番
振替東京二三七二三番

發行兼編輯人　神田區北神保町十四番地　河井道子

印刷人　芝區和泉町七番地　前川吉太郎

印刷所　右同所　三威舎

myn Station)

g of July 31st.

Nitobe,
nsawa, Miss
T. Kikuchi; and

nsawa, Miss Hori
shikawa
asawa
cdonald
atanabe

o
arada
cdonald
ri

Miss Kawai

Kikuchi
. W.C.A.Delegates
oshikawa
Gakko Delegate

Nitobe

Mori

Inagaki
akko Delegate
atanabe
.W.C.A. Delegate

Uemura
wai

day
y; dinner .35

Delegates fo the Kobe Conference will get off the train at Sannomiya Stat

SENDAI CONFERENCE.

At Shokei Jo Gakko, from the evening of July 23rd to the morning of July
ader: Miss Toki Iwasawa.
eakers and Bible Teachers: Prof. K. Yoshikawa, Dr. K. Sasao, Dr. I. Nitobe, Rev. K. Mori, Rev. Y. Inagaki, Miss T. Iwasawa, Mis A. C. Macdonald, Rev. M. Uemura, Rev. T. Kikuchi; two others to be secured.

esday, July 23	6:30 P. M.	Opening	Miss Iwasawa, Mis
ednesday, July 24	8 A. M.	1. Old Testament	Prof Yoshikawa
		2. John	Miss Iwasawa
		3. Inquirer's Class	Miss Macdonald
		4. Younger Girls Class	Miss Watanabe
	9:30 A. M.	Committee and Officers Meeting	
	10:30 A M.	The Practice of Faith	Dr. Sasao
	6:30 P. M.	Sunset Prayer Meeting	Miss Harada
	6:30 P. M.	Our Neighbors	Miss Macdonald
ursday, July 25	5:30 A. M.	Sunrise Prayer Meeting	Miss Hori
	8 A. M.	Bible Hour as above	
	9:30 A. M.	Association reports	
	10:30 A. M.	Spirit filled Men	
	afternoon	Stunt Party	
	7:30 P. M.	Activities of Present Day Women	Miss Kawai
iday. July 26	8 A. M.	Bible Hour, as above	
	9:30 A. M.	Association reports	
	10:30 A. M.	Factory Girls' Problem	Rev. T. Kikuchi
	6:30 P. M.	Sunset Prayer Meeting	Sapporo Y. W.C.A.Del
	7:30 P. M.	Jesus in Heaven	Prof. Yoshikawa
turday, July 27	5:30 A. M.	Sunrise Prayer Meeting	Shokei Jo Gakko Del
	8 A. M.	Bible Hour as above	
	9;30 A. M.	Consultation Hour	
	10:30 A. M.	Faith and Work	Dr. I. Nitobe
	afternoon	Picnic	
nday, July 28	9:30 A. M.	Song Service	
		Steps in Faith	Rev. K. Mori
	afternoon	Delegation Meetings	
	7:30 P. M.	Vespers. Three talks of ten minutes each from delegates	
onday, July 29.	8 A. M.	Bible Hour as above	
	9:30 A. M.	Consultation Hour	
	10:30 A. M.	Christion Faith and Life	Rev. Y. Inagaki
	6:30 P M.	Sunset Prayer Meeting	Lai Jo Gakko Deleg
	7:30 P. M.	Our Aim	Miss Watanabe
esday, July 30	5:30 A. M.	Sunrise Prayer Meeting	Morioka Y.W.C.A. Del
	8 A. M.	Bible Hour as above	
	9:30 A. M.	Cousultation Hour	
	10:30 A. M.	The Redeemed Life	Rev. M. Uemura
	6:30 P. M.	FareWell Me tieg	Miss Kawai

GENERAL INFORMATION.

gistration fee: For entire conference Yen 1.00; or 15 sen per day
ard: For entire conference Yen 6 65; or .85 per day; dinner .3
Two meals and one night,s lodging .70

Do not bring heavy baggage. Hand baggage may be sent to the school by
hinai" delivery. mark all baggage with your name.

Bring pillow case, sheets, and house shoes. If convenient, blanket and pil

stoms.)

SUMMER CONFERENC
YOUNG WOMEN'S CHRISTIAN A
(Thirteenth Summer 191

Motto: James 2: 17, "Even so faith if it hath not work

KOBE CONFERENCE

at Kobo College, from the evening of July 16 t
Leader: Mrs. Taki Shidachi.
Speakers and Bible Teachers: Prof. N. Imaizumi, Rev. T. K
Rev. T. Miyakawa, Rev. Y.
Col. T. Yamamuro, Dr. R. S
Miss J. Kida, Miss C. Nakaj

PROGRAM

Tuesday, July 16	6:30 P. M.	Opening Meeting
Wednesday, July 17	8 A. M.	1. Old Testament Sum
		2. Fundamental Thing
		3. Romans
		4. Younger Girls Class
	9:30 A. M.	Committee and Officers
	10:30 A. M.	"The True Meaning of t
	6:30 P. M.	Sunset Prayer Meeting,
	7:30 P. M.	P. M. Our Battle, Our Hope for the
Thursday, July 18	5:30 A. M.	Sunrise Prayer Meeting
	8 A. M.	Bible Hour as above.
	9:30 A. M.	Association reports.
	10:30 A. M.	Spiritual Thirst.
	Afternoon	Stunt Party.
	7:30 P. M.	Settlement Work and t Christian Spir
Friday 19	8 A. M.	Bible Hour, as above
	9:30 A. M.	Association reports
	10:30 A. M.	The Agony and Determ tion of Awakened Wor
	6:30 P. M.	Sunset Prayer Meeting
	7:30 P. M.	Hygiene and Sanitation
Saturday, Julp 20	5:30 A. M.	Sunrise Prayer Meeting
	8 A. M.	Bible Hours above
	9:30 A. M.	Consultation Hour
	10:30 A. M.	The Practice of Revere
	Afternoon	Picnic
Sunday, July 21	Morning	Conference attends Sund and Churches of Ko
	Afternoon	Delegation meetings
	7:30 P. M.	Vespers (Miss Nishino ten minutes each
Monday, July 22	8 A. M.	Bible Hour as above
	9:30 A. M.	Consultation Hour
	10:30 A. M.	European and Japanese Women at Prese
	6:30 P. M.	Sunset Prayer meeting
	7:30 P. M.	Guidance of Japanese

(Large collection of pictures of Japanese scenes and customs.)

Y. WATANABE, PHOTOGRAPHER

TEL. No. 3883

No. 44 Bentendori, Yokohama.

最新式美術的寫眞を調製す

◎出張撮影

遠近不拘精々御便利を計り貴需に應ず

◎現像及び焼付

迅速且つ叮嚀に御用命に應ず

横濱市辨天通三丁目四四

渡邊寫眞館

電話三八八三番

T. YAMAMOTO

EMBROIDERER AND DRESS MAKER

No. 61, Yamashita-cho, Yokohama, Japan

Tel. No. 3998 (Near the Grand and Oriental Hotel.)

EMBROIDERIES

SILKS LINEN AND COTTON CRAPES

READY MADE

Dresses Blouses and Under Wear

Always on hand at Moderate Prices

繡物商 山本商店

電話三九九八番

內の病原菌を死滅せしむる唯一の

腳氣に賞用せらるゝ

▷舊新約全書の研究
ハールバット博士著 1.30–.08

▷マルチン、ルーテル
武藤健著 .45–.04

▷緋文字 佐藤清譯 1.30–.08

▷通俗耶蘇一代記
櫻井成明譯 .60–.06

▷風雲(兒童問題の將來)
平瀨龍吉著 1.30–.08

▷救の話 コルテス著 .30–.04

▷歷史的耶蘇 宮崎小八郎譯 .30–.04

▷基督教と近世思潮
萩原清次郎著 .65–.06

▷スポルジョンの生涯
平瀨龍吉著 .35–.04

▷基督教の耐實行性
柏井園譯 .80–.06

▷パレアナ 廣中つち子譯 .35–.04

▷日曜學校教授法
賀川豐彥譯 .75–.06

▷單級制日曜學校の發達
コールトン著 .05–.02

■聖書及讚美歌
■日曜學校教材一式

文具

新着舶來 萬年筆
"Waterman" "Remex" ¥4.00 to 10.00

和洋書翰紙及封筒
同手帳及封筒
同鉛筆及インク
紙綴器[及文字浮]出器
タイプライター及附屬品種々

Bible History... ments...B.
Birds Shown ... C. Scott......
Christ, A Lif... English...J...
Christ and th... E. Clark 1...
Christian's Se... Hannah W...
Correct Engli... Josephine T...
Correct Engli... A Complete...
Faith, Fellow... B. McAfee...
How to Live ... Arnold Ben...
How to Tell ... Essays...M...
Jesus–Teacher... for Both P... Teachers...... 1916...... ...
Knowledge of... ....
Life of Christ... George Lud...
Literary Tast... ....
Love Made P... ....
Master's Indw... Murray ......
Mind of God... 1917 ....
Modern Busin... Smith & D...
Seven Secrets... Talks on Ma... Peters 1916...
Shepherd Psal... ....
Spirit–Filled I... Mac Neil...
Statement of t... Herbert H. ...
Temptation W... Meet It...Ph...

東京京橋區銀座四ノ一 教文館 [KYO-BUN-KWAN]

第十五巻第八號
日發行　大正七年九月二十　日印刷納本
五月七日第三種郵便物認可



